

令和３年度静岡県スポーツ少年団

市町本部長・事務担当者会議

公益財団法人静岡県スポーツ協会  
静岡県スポーツ少年団



<目次>

1	令和3年度静岡県スポーツ少年団役員	P1～6
2	令和3年度市町本部長・事務担当者	P7～8
3	静岡県スポーツ少年団活動方針並びに事業大綱	P10
4	令和3年度事業計画および予算	P11～14
5	令和3年度スポーツ少年団各事業について	
	・ 県交流大会について	P15～16＋別紙1
	・ 静岡県スポーツ少年団顕彰について	P17～21＋別紙2
	・ 優秀指導者表彰について	P22～25＋別紙3
	・ ジュニアスポーツフォーラムについて	P26～29＋別紙4
	・ 母集団研修会について（別紙5）	P30
	・ リーダースクールについて	P31～37
	・ 運動適性テストⅡの実施について	P38＋別紙6
	・ ACP 普及促進研修会について	P39
	・ 東海ブロックスポーツ少年団大会について	P40～43
	・ スポーツ少年団登録施行細則について	P44～47
	・ スタートコーチ養成講習会について	P48～49＋別紙7
	・ 登録について	P50～55
6	その他	
	・ 令和3年度日本スポーツ少年団活動計画	P56～62
	・ 全国一斉活動	P63～66
	・ 日独同時交流について	P67～68
	・ 団旗購入について	P69～72
	・ スポーツ少年団役員等の変更について	P73～74
	・ 市町スポーツ少年団事務局	P75～76

# 令和3年度静岡県スポーツ少年団市町本部長・事務担当者会議

## 出欠・事業希望調査

- ①静岡県スポーツ少年団交流大会  
②養成講習会  
③母集団研修会  
④日独同時交流  
⑤指導者研修会

No.	市町	本部長	出欠	事務担当者	出欠	2024年希望					備考
						①	②	③	④	⑤	
1	沼津市	百澤 伸一	○	斎藤 政彦	○					○	
2	熱海市	佐藤 康弘	○	山上 亜紀子	リモート						
3	三島市	足立 博道	○	斉藤 知穂	○						
4	富士宮市	須藤 美視	-	朝夷 啓 望月 昌宏	○ ○						
5	伊東市	濱田 修一郎	-	高田 望	○						
6	富士市	伊藤 幸雄	○	朝日 広美	○			○		○	
7	御殿場市	大谷 康雄	○	芹澤 千佳	○						
8	下田市	山田 吉利	-	平川 博巳	-						
9	裾野市	江口 保儀	○	山内 剛	○						
10	東伊豆町	横山 尋司	○	松田 幸介	○						
11	河津町	飯田 和也	-	山下 永吉	-						
12	南伊豆町	高野 多喜雄	-	宗村 一	リモート						
13	松崎町	佐藤 みつほ	-	鈴木 啓介	-						
14	西伊豆町	鈴木 秀輝	-	石川 貴行	○						
15	函南町	白井 歩美	-	長谷川 園枝	リモート						
16	伊豆の国市	長坂 英右	○	稲葉 寿夫	○						
17	伊豆市	浅田 藤二	-	日吉 武紀	-						
18	清水町	後藤 和男	-	秋元 容子	○						
19	長泉町	勝又 義博	-	井口 好美	-						
20	小山町	室伏 智生	-	山口 尚子	○						

# 令和3年度静岡県スポーツ少年団市町本部長・事務担当者会議

## 出欠・事業希望調査

- ①静岡県スポーツ少年団交流大会  
②養成講習会  
③母集団研修会  
④日独同時交流  
⑤指導者研修会

No.	市町	本部長	出欠	事務担当者	出欠	2024年希望					備考
						①	②	③	④	⑤	
21	静岡市	洵本 邦知	○	朝羽 早希 亀山 真也	○ ○			○	/		
22	島田市	松浦 雅之(5/21まで) 吉田 恵直(5/21から)	-	新聞 三枝	リモート			○	/		
23	焼津市	村松 章	○	村田 祐子	○			○	/		
24	藤枝市	萩原 恭一郎	○	紅林 朋子	○			○	/		
25	牧之原市	伊故海 芳則	○	西原 春香	○			○	/		
26	吉田町	大石 智也 (副本部長)	○	鈴木 祐介	○				/		
27	川根本町	大村 廣久	-	前田 大貴	-				/		
28	浜松市	大ノ木 忍	-	仲山 順一朗	○			○	/		
29	磐田市	高田 欣洋	-	鈴木 邦代	○				/		
30	掛川市	鈴木 勉	-	仲川 恵里	○	○		○	/		
31	袋井市	渡瀬 典幸	-	小林 利香	○			○	/		
32	湖西市	飯田 康仁	リモート	柴田 美智子	リモート				/		
33	御前崎市	漢人 隆弥 (事務局長)	○	内田 淳子	○			○	/		
34	菊川市	石川 清	○	栗田 恵子	○			○	/		
35	森町	富田 敏照	-	佐藤 昭一	-				/		

## 静岡県スポーツ少年団本部長・副本部長

NO	役職	氏名	選出区分
1	本部長	海野 和雄	静岡県スポーツ協会理事
2	副本部長	富田 寿人	本部長推薦(学識経験者)
3	〃	伊藤 秀志	スポーツ少年団指導者協議会会長
4	〃	松浦 雅之	本部長推薦(学識経験者)※島田市本部長

# 令和3年度静岡県スポーツ少年団 本部委員

NO	役職	氏名	選出区分
1	本部長	海野 和雄	静岡県スポーツ協会理事
2	副本部長	富田 寿人	本部長推薦(学識経験者)
3	〃	伊藤 秀志	スポーツ少年団指導者協議会会長
4	〃	松浦 雅之	本部長推薦(学識経験者)
5	本部委員	仲 里司	地域連絡協議会（東部）
6	〃	大橋 正行	地域連絡協議会（中部）
7	〃	本間 秀太郎	地域連絡協議会（西部）
8	〃	勝又 良紀	市町スポーツ少年団（東部）
9	〃	西田 悦子	市町スポーツ少年団（中部）
10	〃	一瀬 誠	市町スポーツ少年団（西部）
11	〃	村松 章	スポーツ少年団指導者協議会
12	〃	下山 裕之	スポーツ少年団指導者協議会
13	〃	上畠 直樹	県スポーツ局(スポーツ振興課)
14	〃	河原崎 正晴	県教委(社会教育課)
15	〃	山崎 元靖	静岡県校長会(小学校)
16	〃	岡本 雅康	静岡県校長会(中学校)
17	〃	祝原 豊	本部長推薦(学識経験者)

# 令和3年度静岡県スポーツ少年団 代 議 員

No.	市町	氏名
1	沼津市	山田 守
2	熱海市	小島 輝久
3	三島市	足立 博道
4	富士宮市	石合 正七
5	伊東市	大川 俊幸
6	富士市	伊藤 幸雄
7	御殿場市	福井 達哉
8	下田市	平川 博巳
9	裾野市	江口 保儀
10	東伊豆町	高木 章吉
11	河津町	飯田 和也
12	南伊豆町	干台 正敏
13	松崎町	菊地 仁
14	西伊豆町	鈴木 秀輝
15	函南町	渡辺 浩三
16	伊豆の国市	長坂 英右
17	伊豆市	浅田 藤二
18	清水町	後藤 和男
19	長泉町	勝又 義博
20	小山町	室伏 智生

No.	市町	氏名
21	静岡市	花村 正
22	島田市	吉田 恵直
23	焼津市	増田 吉久
24	藤枝市	池野 金吾
25	牧之原市	伊故海 芳則
26	吉田町	林 政男
27	川根本町	太田 光
28	浜松市	澤木 尚文
29	磐田市	高田 欣洋
30	掛川市	大角 茂樹
31	袋井市	渡瀬 典幸
32	湖西市	飯田 康仁
33	御前崎市	西島 昌和
34	菊川市	藤原 明子
35	森町	富田 敏照



# 令和3年度静岡県スポーツ少年団 指導者協議会 理事

NO	役職	氏名	選出区分
-	顧問	川嶋 敏秀	前副会長 静岡市

NO	役職	氏名	選出区分
1	会長	伊藤 秀志	市町評議員(西部) 袋井市
2	副会長	高木 亮	市町評議員(東部) 富士市
3	〃	村松 章	市町評議員(中部) 焼津市
4	〃	一瀬 誠	市町評議員(西部) 浜松市
5	理事	佐藤 康弘	市町評議員(東部) 熱海市
6	〃	長坂 英右	市町評議員(東部) 伊豆の国市
7	〃	西田 悦子	市町評議員(中部) 静岡市
8	〃	花村 やよひ	市町評議員(中部) 島田市
9	〃	鈴木 勉	市町評議員(西部) 掛川市
10	〃	飯塚 孝夫	種目別評議員(サッカー)
11	〃	齋藤 広	種目別評議員(野球)
12	〃	土岐 美津枝	種目別評議員(水泳)
13	〃	村松 正幸	種目別評議員(ラグビーフットボール)
14	〃	石田 隆	種目別評議員(柔道)
15	〃	小沢 良行	種目別評議員(バレーボール)
16	〃	岡野 勝義	会長推薦(識見) 袋井市
17	〃	石垣 好康	会長推薦(識見) 焼津市
18	〃	紅林 朋子	会長推薦(女性指導者) 藤枝市
19	〃	下山 裕之	会長推薦(リーダー育成) 長泉町
20	〃	三浦 夢穂	会長推薦(リーダー育成・若手指導者) 静岡市

	監事	柏原 一誠	理事・評議員会選出 長泉町
	〃	鈴木 文雄	種目別評議員(ソフトボール)

# 令和3年度静岡県スポーツ少年団

## 指導者協議会 市町評議員

No.	市 町	氏 名
1	沼津市	田中 賢二
2	熱海市	佐藤 康弘
3	三島市	井出 泰彦
4	富士宮市	大津 和夫
5	伊東市	大川 俊幸
6	富士市	高木 亮
7	御殿場市	大谷 康雄
8	下田市	平川 博巳
9	裾野市	望月 千広
10	東伊豆町	高木 章吉
11	河津町	飯田 和也
12	南伊豆町	千臺 正敏
13	松崎町	深澤 準弥
14	西伊豆町	鈴木 秀輝
15	函南町	渡辺 浩三
16	伊豆の国市	長坂 英右
17	伊豆市	星谷 延宏
18	清水町	後藤 和男
19	長泉町	柏原 一誠
20	小山町	室伏 智生

No.	市 町	氏 名
21	静岡市	西田 悦子
22	島田市	花村 やよひ
23	焼津市	村松 章
24	藤枝市	手島 克訓
25	牧之原市	櫻井 美紀雄
26	吉田町	大島 津幸
27	川根本町	森下 育昭
28	浜松市	一瀬 誠
29	磐田市	佐藤 智洋
30	掛川市	鈴木 勉
31	袋井市	伊藤 秀志
32	湖西市	飯田 康仁
33	御前崎市	鈴木 正人
34	菊川市	渡辺 徳雄
35	森町	富田 敏照

# 令和3年度静岡県スポーツ少年団指導者協議会 種目別評議員

No.	競技団体	氏名
1	陸上競技	笠井 高昭
2	サッカー	飯塚 孝夫
3	テニス	本橋 雅弘
4	バレーボール	小沢 良行
5	バスケットボール	高橋 等
6	卓球	清水 敏朗
7	野球	齋藤 宏
8	水泳	土岐 美津枝
9	体操	杉山 仁夫
10	ラグビーフットボール	村松 正幸
11	柔道	石田 隆

No.	競技団体	氏名
12	ソフトテニス	石川 英樹
13	レスリング	岡本 一紀
14	バドミントン	山崎 琢也
15	ソフトボール	鈴木 文雄
16	剣道	杉浦 邦秀
17	ホッケー	加藤 和則
18	馬術	渡部 竜馬
19	アーチェリー	大井 正晴
20	空手道	小笠原 清
21	少林寺拳法	勝又 照尊

# 令和3年度静岡県スポーツ少年団 市 町 本 部 長

No.	市町	氏名
1	沼津市	百澤 伸一
2	熱海市	佐藤 康弘
3	三島市	足立 博道
4	富士宮市	須藤 美視
5	伊東市	濱田 修一郎
6	富士市	伊藤 幸雄
7	御殿場市	大谷 康雄
8	下田市	山田 吉利
9	裾野市	江口 保儀
10	東伊豆町	横山 尋司
11	河津町	飯田 和也
12	南伊豆町	高野 多喜雄
13	松崎町	佐藤 みつほ
14	西伊豆町	鈴木 秀輝
15	函南町	白井 歩美
16	伊豆の国市	長坂 英右
17	伊豆市	浅田 藤二
18	清水町	後藤 和男
19	長泉町	勝又 義博
20	小山町	室伏 智生

No.	市町	氏名
21	静岡市	淵本 邦知
22	島田市	吉田 恵直
23	焼津市	村松 章
24	藤枝市	萩原 恭一郎
25	牧之原市	伊故海 芳則
26	吉田町	林 政男
27	川根本町	大村 廣久
28	浜松市	大ノ木 忍
29	磐田市	高田 欣洋
30	掛川市	鈴木 勉
31	袋井市	渡瀬 典幸
32	湖西市	飯田 康仁
33	御前崎市	西島 昌和
34	菊川市	石川 清
35	森町	富田 敏照

# 令和3年度静岡県スポーツ少年団 市町事務担当者

No.	市町	氏名
1	沼津市	斎藤 政彦
2	熱海市	山上 亜希子
3	三島市	笹井 遼馬
4	富士宮市	朝夷 啓
5	伊東市	高田 望
6	富士市	朝日 広美
7	御殿場市	芹澤 千佳
8	下田市	平川 博巳
9	裾野市	山内 剛
10	東伊豆町	松田 幸介
11	河津町	山下 永吉
12	南伊豆町	宗村 一
13	松崎町	鈴木 啓介
14	西伊豆町	石川 貴行
15	函南町	長谷川 園枝
16	伊豆の国市	稲葉 寿夫
17	伊豆市	日吉 武紀
18	清水町	秋元 容子
19	長泉町	井口 好美
20	小山町	山口 尚子

No.	市町	氏名
21	静岡市	朝羽 早希
22	島田市	新聞 三枝
23	焼津市	村田 祐子
24	藤枝市	紅林 朋子
25	牧之原市	西原 春香
26	吉田町	鈴木 祐介
27	川根本町	前田 大貴
28	浜松市	仲山 順一朗
29	磐田市	鈴木 邦代
30	掛川市	仲川 恵里
31	袋井市	小林 利香
32	湖西市	柴田 美智子
33	御前崎市	高田 光涼
34	菊川市	栗田 恵子
35	森町	佐藤 昭一



## 静岡県スポーツ少年団活動方針並びに事業大綱

### 1 組織の育成と強化

- (1) 市町スポーツ少年団組織との連携
- (2) 競技団体との連携
- (3) 団員加入率の増加
- (4) 母集団研修会の充実
- (5) リーダーの育成と県リーダー部会の活性化
- (6) 各単位団の地域への参画

### 2 指導者の育成

- (1) 指導者の養成と資質の向上
- (2) 講習会、研修会の開催と中央講習会、研修会への参加
- (3) 女性指導者の育成

### 3 活動の強化

- (1) 地域交歓・交流大会の推進
- (2) 運動適性テストⅡの実施推奨
- (3) 国際交流事業及び全国交流大会への参加
- (4) ブロック交流大会への参加
- (5) しずおかスポーツフェスティバルへの参加

### 4 スポーツ少年団指導者協議会との連携

# 令和3年度静岡県スポーツ少年団事業計画

## ＜令和3年度日本スポーツ少年団事業＞

No.	行 事	期 日	会 場・その他
1	日独スポーツ少年団同時交流 (派遣:オンライン交流)	7月25日(日)～8月1日(日)	派遣:オンライン
2	第59回全国スポーツ少年団大会	9月18日(土)～20日(月・祝)	＜東京都＞ 調整中
3	第43回全国スポーツ少年団 軟式野球交流大会	8月13日(金)～16日(月)	＜沖縄県＞ 沖縄セルラースタジアム那覇他
4	第44回全国スポーツ少年団 剣道交流大会	令和4年3月26日(土)～28日(月)	＜高知県＞ 高知県立青少年センター
5	第19回全国スポーツ少年団 バレーボール交流大会	令和4年3月27日(日)～30日(水)	＜島根県＞ 松江市総合体育館他
6	シニア・リーダースクール	8月13日(金)～16日(月)	オンライン形式

\* 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会は、女子各県1チーム、男子は東海ブロックで1チームの出場枠。  
男子は、東海ブロック競技別交流大会にて勝ち上がったチームが参加。

## ＜令和3年度東海ブロックスポーツ少年団事業＞

No.	行 事	期 日	会 場・その他
1	日独スポーツ少年団 同時交流事前研修会	6月26日(土)	派遣:オンライン
2	東海ブロックスポーツ少年団 理事会	①5月15日(土)	書面決議
		②10月16日(土)(予定)	＜三重県＞じばさん三重
		③令和4年2月19日(土)(予定)	＜三重県＞じばさん三重
3	日独スポーツ少年団 同時交流東海ブロック受入	休番(静岡県のみのみ)	
4	第52回東海ブロックスポーツ少年団大会	8月13日(金)～15日(日)	＜静岡県＞ 県立三ヶ日青年の家
5	第33回東海ブロックスポーツ少年団 競技別交流大会兼全国スポーツ少年 団軟式野球交流大会東海ブロック予選	6月19日(土) ＜予備日:6月20日(日)＞	＜愛知県＞ 愛知県口論議運動公園
6	第33回東海ブロックスポーツ少年団 競技別交流大会	ソフトボール:11月14日(日)	＜岐阜県＞ 杭瀬川スポーツ公園
		サッカー:12月12日(日)	＜愛知県＞ 東公園グラウンド
		バレーボール:12月19日(日)	＜三重県＞ 未定
7	東海・北信越ブロック会議	令和4年2月3日(木)～4日(金)	＜愛知県＞ アイリス愛知
8	東海ブロックスポーツ少年団 指導者研究協議会	令和3年11月6日(土)～7日(日)	＜静岡県＞ アクトシティ浜松研修交流センター
9	第26回東海ブロックスポーツ 少年団リーダー研究大会	令和4年3月12日(土)～13日(日)	＜三重県＞ 県営鈴鹿青少年センター



## 令和3年度静岡県スポーツ少年団事業計画

事業名	開催市町名	期日	会場名
静岡県スポーツ少年団 交 流 大 会 開会式：日本顕彰・県顕彰表彰	沼津市	11月3日(水・祝)	沼津市営球場
	島田市	11月21日(日)	島田市陸上競技場
	菊川市	11月28日(日)	菊川運動公園
スポーツ少年団 スタートコーチ養成講習会	東 部	11月27日(土)	長岡中央公民館(あやめ会館) (伊豆の国市)
	中 部	12月18日(土)	県スポーツ協会会館(静岡市)
	西 部	10月23日(土)	袋井市教育会館
アクティブ・チャイルド・プログラム普及講習会	※調整中		
ジュニアリーダー スクール(県本部事業)	焼津市	10月30日(土)～31日(日)	焼津青少年の家
初級ジュニアリーダー スクール(県本部事業)	東 部	令和4年1月22日(土)	沼津労政会館
	中 部	令和4年1月29日(土)	ローズアリーナ(島田市)
	西 部	令和4年1月16日(日)	山名コミュニティセンター(袋井市)
日独同時交流 受入市町	休 番		
母集団研修会	熱海市	※調整中	
	三島市	6月5日(土)	三島市民体育館
	富士市	5月21日(金)	富士市消防防災庁舎
	函南町	令和4年2月頃	函南町文化センター(多目的ホール)
	静岡市	6月19日(土)	北部体育館 柔道場
	島田市	7月10日(土)	島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館
	焼津市	6月26日(土)	焼津市総合体育館
	藤枝市	6月13日(日)	藤枝市武道館
	浜松市	6月12日(土)	浜松アリーナ
	掛川市	※調整中	
	袋井市	8月26日(木)	さわやかアリーナ
	菊川市	7月9日(金)	中央公民館
静岡県スポーツ少年団 指導者研修会 (指導協事業)	富士市	12月8日(水)	富士市消防防災庁舎7階
	藤枝市	令和4年2月20(日)	藤枝市武道館
	磐田市	令和4年2月予定	
市町スポーツ少年団 事務担当者会議	静岡市	5月19日(水)14:00～	県スポーツ協会会館

## 令和3年度静岡県スポーツ少年団事業費 予算

収入予算: 9,205,000 円

支出予算: 9,205,000 円

差引残額: 0 円

【収入】 (単位:円)

款	項	目	令和2年度 予算額	令和3年度 予算額	増額	摘要
登録料収入			2,400,000	2,080,000	△ 320,000	
		スポーツ少年団登録料	2,400,000	2,080,000	△ 320,000	団員 @100×20,500名 役員 @300×100名
補助金収入			21,049,200	4,950,000	△ 16,099,200	
日スポ協 補助金収入	スポーツ少年団 育成事業補助金		3,017,600	4,650,000	1,632,400	組織整備強化事業費・受取負担金(3,210,000) 東海B事業補助金(400,000) 事業補助金、参加者旅費補助金等(640,000) 拠出金(400,000)
	第58回全国スポーツ少年 大会補助金		17,031,600	0	△ 17,031,600	
	県 補助金収入	少年スポーツ事業補助金	1,000,000	300,000	△ 700,000	交流大会(300,000)
参加料収入			1,076,000	1,135,000	59,000	養成事業 他
県スポ協負担金			825,400	1,040,000	214,600	
合 計			25,350,600	9,205,000	△ 16,145,600	

△表記については、減額を表すこととする(平成27年第3回本部委員会確認)

# 令和3年度静岡県スポーツ少年団事業費 予算

【支出】

(単位:円)

項 目	令和2年度 予算額	令和3年度 予算額	増減	摘要
本部委員会費	165,000	165,000	0	旅費、会議費等
本部事務費	600,000	555,000	△ 45,000	通信運搬費、参加費等
スタートコーチ(スポーツ少年団) 養成講習会	720,000	720,000	0	@240,000円×3会場
母集団研修会	607,000	607,000	0	@50,000×12市町
体力テスト実施費	100,000	100,000	0	合格章・名簿
ジュニアリーダー養成	1,192,000	1,102,000	△ 90,000	シニア・ジュニア・ 初級ジュニアリーダースクール
ACP促進研修会	0	220,000	220,000	
少年スポーツ事業費	2,047,000	2,313,000	266,000	
県スポーツ少年大会	609,000	609,000	0	
日独同時交流	1,083,000	104,000	△ 979,000	派遣
東海ブロック競技別交流大会	355,000	0	△ 355,000	
東海ブロックスポーツ少年大会	0	1,600,000	1,600,000	東海ブロック事業補助金 400,000 東海各県開催運営負担 200,000×4県 組織整備強化 400,000
全国スポーツ少年大会	948,000	1,245,000	297,000	旅費・参加料 (全国スポ少・野球・剣道・バレー)
全国スポーツ少年団交流大会 (バレーボール) 準備費	0	500,000	500,000	令和4年度3月開催予定
第58回全国スポーツ少年大会 (静岡県開催)	17,031,600	0	△ 17,031,600	
顕彰費	70,000	60,000	△ 10,000	額縁・賞状
補助金及び交付金	1,587,000	1,386,000	△ 201,000	
種目別交流費	565,000	515,000	△ 50,000	7種目程度
県外交流活動推進事業	437,000	307,000	△ 130,000	東海ブロック競技別交流大会旅費
リーダー育成事業	585,000	564,000	△ 21,000	県内研修会、東海B研究大会旅費
負担金	283,000	232,000	△ 51,000	東海ブロック少年大会開催運営負担金 (200,000) 及び東海連絡協議会(32,000)
合 計	25,350,600	9,205,000	△ 16,145,600	

△表記については、減額を表すこととする(平成27年第3回本部委員会承認済み)

科目間流用を認めるものとする(平成26年承認済み)

## 令和3年度静岡県スポーツ少年団交流大会要項

### 1 趣 旨

青少年の健全育成をめざして県内のスポーツ少年団員が一堂に会し、友情と親睦を深めるとともに、指導者のスポーツ少年団活動に対する理解を高めることを目的とする。

### 2 主 催

公益財団法人静岡県スポーツ協会

### 3 主 管

静岡県スポーツ少年団 静岡県スポーツ少年団指導者協議会  
沼津市スポーツ少年団 島田市スポーツ少年団 菊川市スポーツ少年団

### 4 後 援 (予定)

静岡県・静岡県教育委員会  
沼津市教育委員会 島田市教育委員会 菊川市教育委員会  
NPO法人沼津市体育協会 島田市スポーツ協会 NPO法人菊川市体育協会

### 5 期日・会場

東 部 : 令和3年11月3日(水・祝) 沼津市営球場  
中 部 : 令和3年11月21日(日) 島田市陸上競技場  
西 部 : 令和3年11月28日(日) 菊川運動公園

### 6 日 程

8:30	9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	14:20
受付 集合	入場行進 開 会 式	交歓会	昼食	自 由 交歓会	清掃	閉会式

### 7 参 加 者

- (1) スポーツ少年団に登録されている者で、市町スポーツ少年団本部長が推薦する者
- (2) 市町スポーツ少年団本部並びに担当者
- (3) 市町スポーツ関係者
- (4) 市町スポーツ少年団の育成会員
- (5) 団員保護者

### 8 持 参 品

- (1) 各単位団スポーツ少年団旗(日本スポーツ少年団制定団旗)  
※できれば市町本部旗も持参のこと
- (2) 個人……………運動のできる服装・水筒・ゴミ袋・雨具・運動靴着用のこと

### 9 参 加 申 込

各単位団ごとにとりまとめ、市町本部へ申し込む。

### 10 そ の 他

開会式内にて、日本スポーツ少年団顕彰伝達式・静岡県スポーツ少年団顕彰表彰式を行います。

※ 大会参加中の傷害については、応急処置は行いますが、その後の責任は負いません。

## 令和3年度静岡県スポーツ少年団交流大会補助金交付要項

### 1 補助事業名

静岡県スポーツ少年団〇〇地区大会

### 2 趣旨

青少年の健全育成をめざして、県内のスポーツ少年団員が一堂に会し、スポーツを通じて健全な身体と心を養い友情と親睦を深めるとともに、指導者ならびに母集団のスポーツ少年団活動に対する理解を高めることを目的とする。

### 3 期間

令和3年10月1日より令和4年2月末日までの間に実施。

### 4 対象経費

補助金の対象経費は、諸謝金、会議費、借損料、(会場借上料等)  
消耗品費、印刷製本費(資料作成費等)、通信運搬費等

### 5 補助金の額

1会場 20万円

### 6 補助金の交付

補助金交付申請書(様式1～3)および請求書の提出後、本会にて内容を審査し、交付する。

### 7 決算書の作成及び提出

#### (1) 決算書の作成上の注意事項

支出については、内訳を詳細に記入のこと。

#### (2) 補助金の確定

補助金は、補助対象経費総額と補助金(20万円)とのいずれか低い額を確定額とする。  
ただし、剰余金が生じた場合は補助金の範囲内で返還するものとする。

### 8 事業実施報告書の提出期限

全事業終了後2週間以内に本補助事業に関する事業実施報告書(様式4～6)を作成する。なお、事業執行に伴う各経費の領収証等証拠書(交付金額分は原本、その他はコピー可)を添付すること。

### 9 その他

開催市町スポーツ少年団より該当地区スポーツ少年団へ要項を送付し、参加者の取りまとめを行う。

静スポ協ス少第 号  
令和 3 年 5 月 19 日

《市町名》スポーツ少年団本部長 様

公益財団法人静岡県スポーツ協会  
静岡県スポーツ少年団  
本部長 海野 和雄

静岡県スポーツ少年団顕彰事業の実施に伴う候補者の推薦について（依頼）

日ごろ、静岡県スポーツ少年団事業に関しましては、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、静岡県スポーツ少年団では、「静岡県スポーツ少年団顕彰要綱」及び「同施行基準」に基づき令和 3 年度の顕彰事業を実施いたします。

ついては、貴市町スポーツ少年団における令和 3 年度顕彰候補者ならびに候補団を別添様式（1-1～3-3）に基づきご推薦願います。

なお、推薦書の提出は 9月1日（水）必着（メール等可）とし、提出のない場合は推薦がないものとして取扱いますのでご承知おきください。

〈提出・問合せ先〉 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田 5-1-1  
（公財）静岡県スポーツ協会 静岡県スポーツ少年団  
TEL:054-265-6464（担当：山下）  
MAIL:yamashita-t@shizuokaken-sports.co

（注） 顕彰要綱施行基準第 5 項による貴市町スポーツ少年団の顕彰対象数

＊ 単位団スポーツ少年団 《顕彰数》団体以内

＊ 登録指導者（市町役職員登録者含） 《顕彰数 1》名以内

※ 生涯スポーツ優良団体表彰候補団（文部科学大臣表彰）及び、日本スポーツ少年団顕彰候補者（日本スポーツ協会主管）については、県の顕彰を受彰した団体指導者の中から選考しておりますので、その旨を考慮しご推薦願います。

## 静岡県スポーツ少年団顕彰要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、静岡県スポーツ少年団規程第4条3項に基づく、スポーツ少年団の顕彰について必要な事項を定める。

(顕彰の種類と基準)

第2条 顕彰は静岡県スポーツ少年団本部長名をもって行い、表彰状および感謝状とし、次の基準に該当するものについて行う。

(1) 表彰状

(ア) 永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のあるスポーツ少年団

(イ) 永年にわたりスポーツ少年団の指導・育成に貢献し、特に顕著な功績のあった登録者

(2) 感謝状

永年にわたりスポーツ少年団の指導・育成に貢献し、特に顕著な功績のあった登録者

(候補者の推薦)

第3条 候補者の推薦は、別に定める様式により市町体育・スポーツ協会会長および市町スポーツ少年団本部長が所定の期日までに静岡県スポーツ少年団本部長宛に提出する。

(表彰者の決定)

第4条 表彰者の決定は、静岡県スポーツ少年団顕彰審査委員会にて行う。

なお、静岡県スポーツ少年団本部委員会及び公益財団法人静岡県スポーツ協会総務委員会に報告するものとする。

第5条 本要綱の改正は、静岡県スポーツ少年団本部委員会の承認を得て変更することができる。

附則 1 (1) 本要綱は平成2年9月21日から施行する。

(2) 本要綱は令和2年11月14日から施行する。

附則 2 (1) 本要綱施行基準は、静岡県スポーツ少年団顕彰要綱施行基準による。

## 静岡県スポーツ少年団顕彰要綱施行基準

この基準は、静岡県スポーツ少年団顕彰要綱施行にあたっての必要な事項について定める。

- 1 第2条(1)および(2)項における永年とは、20年以上登録した団及び登録者をいう。
- 2 第2条(1)項(ア)の対象団は、2名以上のスポーツ少年団の理念を学んでいる者を有すること。
- 3 第2条(1)項(イ)の対象者は、原則として市町スポーツ少年団の推薦を受けた者で、かつ静岡県スポーツ少年団からは、顕彰を受けたことがない日本スポーツ協会公認指導者、旧認定員・育成員であること。
- 4 第2条(2)項の対象者は、原則として市町スポーツ少年団または静岡県スポーツ少年団から顕彰を受けた者であること。

### 5 顕彰の数

各市町スポーツ少年団における前年度登録の実績から次のように定める

#### (1) 第2条(1)項(ア)の市町スポーツ少年団

登録単位団数	20まで	1団体
〃	21～50まで	3団体以内
〃	51～100まで	5団体以内
〃	101～150まで	10団体以内
〃	151団以上	13団体

#### (2) 第2条(1)項(イ)の登録者

50名まで	1名
51～100名まで	2名以内
101～150名まで	3名以内
151～200名まで	4名以内
(以下同様に50名ごとに1名追加)	

- 6 市町スポーツ少年団は毎年9月1日まで、所定の様式をもって、静岡県スポーツ少年団本部長宛推薦を完了する。
- 7 静岡県スポーツ少年団顕彰審査委員会は、上記推薦書を審査し、静岡県スポーツ少年団本部長が顕彰を行う。
- 8 文部科学大臣表彰については、静岡県スポーツ少年団顕彰を受けた団とする。



### 令和3年度静岡県スポーツ少年団顕彰 市町顕彰数

市町名	単位団数		指導者数	
	合計	顕彰数	合計	顕彰数
沼津市	28	3	79	4
熱海市	13	1	29	2
三島市	34	3	96	4
富士宮市	46	3	157	6
伊東市	11	1	34	1
富士市	66	5	217	7
御殿場市	20	1	50	2
下田市	8	1	21	1
裾野市	14	1	37	2
東伊豆町	1	1	3	1
河津町	1	1	4	1
南伊豆町	2	1	5	1
松崎町	4	1	8	1
西伊豆町	1	1	2	1
函南町	12	1	41	2
伊豆の国市	27	3	94	4
伊豆市	11	1	41	2
清水町	7	1	15	1
長泉町	22	3	62	3
小山町	8	1	24	2

市町名	単位団数		指導者数	
	合計	顕彰数	合計	顕彰数
静岡市	98	5	553	13
島田市	32	3	202	5
焼津市	52	5	328	8
藤枝市	57	5	363	8
牧之原市	28	3	147	3
吉田町	12	1	79	2
川根本町	2	1	10	1

	単位団数		指導者数	
	合計	顕彰数	合計	顕彰数
浜松市	153	13	1,063	24
磐田市	44	3	240	5
掛川市	49	3	267	6
袋井市	26	3	177	4
湖西市	22	3	154	4
御前崎市	19	1	94	2
菊川市	22	3	126	3
森町	9	1	52	2

＜顕彰の数＞				
団	20団まで	1団体		
	21団～50団まで	3団体以内		
	51団～100団まで	5団体以内		
	101団～150団まで	10団体以内		
	151団以上	13団体		
指導者	50名まで	1名		
	51名～100名まで	2名以内		
	101名～150名まで	3名以内		
	151名～200名まで	4名以内		
	(以下同様に50名ごとに1名追加)			
合計	961	87	5,632	60

※令和2年度登録数を基に決定しております

## 令和2年度静岡県スポーツ少年団顕彰受賞団・受賞指導者

### 【受賞スポーツ少年団】

市町名	団 体 名
沼津市	スマツ 沼津ヒーローズスポーツ少年団
三島市	ナカザト 中郷ファイターズスポーツ少年団
焼津市	クロイシヤキウ 黒石野球スポーツ少年団
藤枝市	ハナシ ヤキウ 葉梨ファイターズ野球スポーツ少年団
藤枝市	アオジマケンシカンカラテ 青島健士館空手スポーツ少年団
浜松市	アリタマ 有玉ミニバスケットボールスポーツ少年団
浜松市	ハママツアイオイイダ 浜松相生飯田ファルコンズスポーツ少年団
浜松市	テンリョウ ケンカイ 天竜剣志会スポーツ少年団
掛川市	カケガワ 掛川JFCスポーツ少年団
袋井市	カサハラ 笠原スポーツ少年団
袋井市	アサバ ヤキウ 浅羽ジュニア野球クラブスポーツ少年団
菊川市	キクガワシ 菊川市バドミントンスポーツ少年団
菊川市	キクガワ VSC 菊川VSCスポーツ少年団
菊川市	ヨコチヤキウ 横地野球スポーツ少年団

### 【受賞指導者】

市町名	氏 名	所 属
御殿場市	オオタニ ヤスオ 大谷 康雄	富士岡サッカースポーツ少年団
静岡市	ホリウチ ヒデアキ 堀内 栄明	用宗剣道スポーツ少年団
静岡市	サイトウ ヒロシ 齋藤 広	長田野球スポーツ少年団
島田市	キタムラ ミツヒロ 北村 充啓	島田第五サッカースポーツ少年団
島田市	ヨシダ シンタロウ 吉田 恵直	島田第五サッカースポーツ少年団
島田市	イツカ トシオ 飯塚 利男	島田第四スポーツ少年団
焼津市	イケダ ヨシユキ 池田 義之	焼津豊田バレーボールスポーツ少年団
焼津市	カワシマ クニヒコ 川島 邦彦	焼津豊田バレーボールスポーツ少年団
藤枝市	カワモリ マサキ 河守 正記	藤枝中央サッカースポーツ少年団
藤枝市	ハママラ カネタカ 濱村 金隆	藤枝中央サッカースポーツ少年団
藤枝市	アオシマ トシユキ 青島 利行	青島空手道スポーツ少年団
藤枝市	ワカバヤシ テヨ 若林 秀子	とびうお水泳スポーツ少年団
藤枝市	オバタ ヤスオ 小幡 裕男	大洲バレーボールスポーツ少年団
藤枝市	マツウラ ミツオ 松浦 光男	青島バレーボールスポーツ少年団
藤枝市	ヤギ ユキオ 八木 教雄	藤園ソフトテニススポーツ少年団
浜松市	オオタ マコト 太田 誠	浜松ホークス少年野球団スポーツ少年団
浜松市	ミヤザキ ミツヒロ 宮崎 充弘	浜松江南ジュニアバスケットボールスポーツ少年団
浜松市	ササキ タカシ 佐々木 孝	浜松相生飯田ファルコンズスポーツ少年団
浜松市	ナカザワ ハジメ 中澤 一	浜松ドリームアローズスポーツ少年団
浜松市	オオタニ フジミ 大谷 藤美	引佐ウィングスバレーボールスポーツ少年団
浜松市	サルタ テツジ 猿田 哲司	引佐ウィングスバレーボールスポーツ少年団
浜松市	アイザワ マサシ 相澤 正志	三ヶ日フレンズ野球スポーツ少年団
浜松市	ヨシワキ ヒサオ 吉脇 久雄	三ヶ日ジャガーズスポーツ少年団

＜静岡県スポーツ少年団顕彰審査委員会＞  
書面開催

審査委員: 海野本部長  
富田副本部長  
伊藤副本部長  
松浦副本部長

### 【感謝状 受賞指導者】

市町名	氏 名	団 体 名
掛川市	アリカイ タモツ 有海 保	掛川市スポーツ少年団本部
掛川市	オカダ ヒロシ 岡田 弘	千浜野球スポーツ少年団 掛川市スポーツ少年団本部
掛川市	スズキ ツトム 鈴木 勉	大淵野球スポーツ少年団 掛川市スポーツ少年団本部

受 賞 団 14団

受賞指導者 23名

感 謝 状 3名

令和 3 年 5 月 19 日

市町スポーツ少年団本部長 各位

静岡県スポーツ少年団指導者協議会  
会 長 伊 藤 秀 志

令和 3 年度静岡県スポーツ少年団指導者協議会優秀指導者表彰に係る  
候補者の推薦について（依頼）

日ごろ、スポーツ少年団活動について、格別の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。  
さて、標記の表彰候補者について、8 月 27 日（金）までに別紙様式により御推薦くださ  
いますようお願い申し上げます。

なお、推薦にあたりましては、次の事項に御留意ください。

- 1 表彰は別添の「静岡県スポーツ少年団指導者表彰規程」に基づき行います。
- 2 永年とは通算 10 年間以上登録指導者として活動していることを言います。  
※ 平成 23 年度から継続して登録（本年度で 11 年目の登録）している有資格指導者が、  
該当となります。  
※ 10 年間のうち登録をしなかった年度のある指導者は該当しません。
- 3 有資格指導者とは、公益財団法人 日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者を言い、指  
導者・役員・スタッフのいずれの登録でも該当となります。
- 4 この規程による既受賞者を除きます。  
※ 静岡県スポーツ少年団優秀指導者章受賞者名簿を参考にしてください。  
<http://shizuokajsia.web.fc2.com/hyosyomeibo.pdf>
- 5 表彰状の日付は令和 3 年 10 月 11 日（本来のスポーツの日）とします。  
※ 市町によって別の日付を希望する場合は、その旨を推薦書に御記入ください。
- 6 提出期限は令和 3 年 8 月 27 日（金）必着とします。  
※ 期日を過ぎたものは受付できませんので、次年度に御提出ください。
- 7 提出先 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田 5-1-1  
公益財団法人 静岡県スポーツ協会  
静岡県スポーツ少年団指導者協議会  
電話：054-265-6464

# 静岡県スポーツ少年団指導者表彰規程

第1条 スポーツ少年団の育成指導について永年にわたり精励しスポーツ少年団の育成に顕著な功績のあった指導者をこの規程によって表彰する。

第2条 この規程による指導者とは、地域において現に単位スポーツ少年団を育成指導している指導者で、日本スポーツ少年団に継続して登録している有資格指導者をいう。

第3条 この規程において永年とは既に10年以上をいう。

第4条 表彰は市町スポーツ少年団本部長又は市町スポーツ少年団指導者協議会会長が推薦した指導者について静岡県スポーツ少年団指導者協議会会長が行う。

第5条 市町スポーツ少年団本部長又は市町スポーツ少年団指導者協議会会長は、この規程による表彰に該当する指導者があるときは「優秀指導者推薦書」を静岡県スポーツ少年団指導者協議会会長に提出するものとする。

第6条 表彰は毎年1回行う。

## 附 則

この規程は、昭和58年4月23日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成21年4月20日から施行する。

- ・市町本部等から推薦のあった指導者の表彰について、静岡県スポーツ少年団指導者協議会理事会の協議を経て行う。
- ・表彰状の日付は、スポーツの日を原則とする。

令和２年度 静岡県スポーツ少年団指導者協議会優秀指導者表彰受賞者名簿

受賞番号	氏 名	生 年	市 町 名	単 位 団 名
第2267号	是 永 清 明	昭43	沼 津 市	大岡VSC
第2268号	高 橋 弘 二 郎	昭43	三 島 市	リトルジャイアンツ
第2269号	小 澤 竜 彦	昭42	三 島 市	リトルジャイアンツ
第2270号	飯 塚 和 也	昭42	三 島 市	徳倉パワーズソフトボール
第2271号	渡 辺 勝	昭41	三 島 市	中郷ファイターズ
第2272号	水 島 陽	昭43	静 岡 市	長田南マリーンズ
第2273号	鈴 木 貴 久	昭45	静 岡 市	長田南マリーンズ
第2274号	菊 谷 肇	昭42	静 岡 市	静岡南オーシャンズ
第2275号	松 永 岳 久	昭42	静 岡 市	飯田リトルジャイアンツ
第2276号	佐 野 要 二	昭40	静 岡 市	長田南サッカー
第2277号	平 井 奉 子	昭51	静 岡 市	不二見スポーツクラブ
第2278号	成 島 啓 一	昭51	島 田 市	五和サッカー
第2279号	村 下 祐 治	昭47	島 田 市	五和サッカー
第2280号	太 田 拓 郎	昭56	島 田 市	島田イースタン
第2281号	櫻 井 太 郎	昭47	島 田 市	島田イーグルス
第2282号	曾 根 秀 樹	昭48	島 田 市	東町・袋井ソフトボール
第2283号	岩 瀬 勝 彦	昭37	島 田 市	初倉ソフトボール
第2284号	安 瀬 正 勝	昭43	浜 松 市	浜松小池ビーバーズ
第2285号	鈴 木 宏 昌	昭31	浜 松 市	浜松ブラッツ野球
第2286号	松 岡 伸 悟	昭54	浜 松 市	浜松ヤンキース
第2287号	溝 垣 昌 弘	昭58	浜 松 市	篠原ウィンズミニバスケットボール
第2288号	高 橋 基	昭44	浜 松 市	浅間ドルフィンズ
第2289号	仲 田 安 男	昭36	浜 松 市	曳馬
第2290号	伊 東 隆 士	昭46	浜 松 市	太陽卓球
第2291号	有 谷 匡 身	昭41	浜 松 市	新原野球
第2292号	市 川 正 巳	昭43	浜 松 市	新原野球
第2293号	新 川 克 弘	昭41	浜 松 市	天竜剣志会
第2294号	鈴 木 章 方	昭55	浜 松 市	天竜剣志会
第2295号	小 野 勝 也	昭37	浜 松 市	細江バレーボール
第2296号	松 本 靖 之	昭40	浜 松 市	細江バレーボール
第2297号	村 上 由 喜 孝	昭33	浜 松 市	細江野球
第2298号	渋谷 由 紀	昭40	浜 松 市	浜松拳友会律誠館
第2299号	栗 田 省 吾	昭44	浜 松 市	Ryuchi FC10
第2300号	松 下 哲 也	昭44	浜 松 市	Ryuchi FC10
第2301号	横 山 淳	昭52	掛 川 市	大須賀サッカー
第2302号	小 島 政 美	昭35	掛 川 市	掛川桜木女子ソフトボール部
第2303号	豊 田 次 郎	昭39	掛 川 市	原野谷VSC
第2304号	永 田 博 志	昭25	袋 井 市	袋井西ジュニアバレーボールクラブ
第2305号	田 代 孝 治	昭28	袋 井 市	浅羽ジュニア野球

第2306号	鈴木 宏 和	昭29	袋 井 市	袋井南少年野球クラブ
第2307号	鈴木 晶 子	昭43	菊 川 市	小笠北VSC
第2308号	池 田 恒	昭44	菊 川 市	菊川ミニバスケットボール
第2309号	原 川 敦	昭42	菊 川 市	菊川陸上
第2310号	野 口 義 広	昭37	森 町	森町柔道
第2311号	野 口 正 美	昭39	森 町	森町柔道
第2312号	三澤喜美男	昭36	森 町	カワセミアクティブキッズ
第2313号	川地真奈美	昭41	森 町	カワセミアクティブキッズ

以上 47人

## 第4回ジュニアスポーツフォーラム開催要項

### 1. 趣旨

ジュニアスポーツに関わる指導者およびスポーツ少年団リーダーの資質向上を図るとともに、スポーツ活動に欠かすことのできない安全・安心な環境の整備に資するために、指導者、リーダー、法律実務家および研究者を一堂に会し、フォーラムを開催する。

### 2. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団  
公益財団法人スポーツ安全協会  
日本スポーツ法学会

### 3. 主管

日本スポーツ少年団指導者協議会運営委員会

### 4. 後援（予定）

スポーツ庁

### 5. 協力

スポーツ安全保険引受損害保険会社 計8社

### 6. 期日

令和3年6月13日（日）

### 7. 開催形態

新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から Web 会議システムを用いたオンライン形式で開催する。

### 8. 内容

#### (1) 特別講演

「ジュニア期における暴言、暴力、  
その他のハラスメントが子供に及ぼす影響、その危険性について（仮）」

演者：南部さおり（日本体育大学）

#### (2) 分科会（パネルディスカッション）

A：スポーツ指導におけるファシリテーションの重要性

B：青少年のスポーツの場として選ばれる単位団・クラブになるために

C：将来のスポーツ少年団指導者となるスポーツ少年団リーダーの育成について

D：スポーツ少年団活動における反倫理的行為発覚の際の対応

### 9. 日程

別紙日程による。

## 10. 参加対象

- (1) スポーツ少年団登録指導者・役員・スタッフ
- (2) 都道府県スポーツ少年団リーダー代表者およびリーダー育成担当指導者（各1名）
- (3) ジュニアスポーツに従事する法律実務家および研究者
- (4) ジュニアスポーツに従事している日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格保有者
- (5) その他、日本スポーツ少年団が認めた者

※(2)については、令和3年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会参加者が引き続き参加する。

## 11. 申込方法

- (1) スポーツ少年団登録指導者・役員・スタッフ

都道府県スポーツ少年団は、参加するスポーツ少年団登録指導者・役員・スタッフをとりまとめ、所定の参加申込書により5月28日（金）までに日本スポーツ少年団宛にE-mailにて申し込むこと。

【送付先 E-mail アドレス】	jjsa@japan-sports.or.jp
-------------------	-------------------------

- (2) 都道府県スポーツ少年団リーダー代表者およびリーダー育成担当指導者（各1名）

令和3年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会への参加申込をもって、本フォーラムの参加申込とする。

- (3) 上記申込方法(1)および(2)のいずれにも該当しない方

所定の参加申込書により6月4日（金）までに日本スポーツ少年団宛申し込むこと。

※日本スポーツ法学会を通じた参加申込については別に定める。

## 12. 定員

500名

※定員を超える参加申込をいただいた場合は、参加をお断りする場合がございます。

※上記参加対象(1)の方の参加可否は、ご所属の都道府県スポーツ少年団からご連絡いたします。

## 13. 参加料および支払い方法

- (1) スポーツ少年団登録指導者・役員・スタッフ

都道府県スポーツ少年団は、参加料1,100円（税込）×人数分を取りまとめ、6月4日（金）までに下記振込先へ納入のこと。

なお、参加者は都道府県スポーツ少年団の指示に従い、参加料を納めること。

- (2) 都道府県スポーツ少年団リーダー代表者およびリーダー育成担当指導者（各1名）

本フォーラムの参加料は不要とする。

- (3) 日本スポーツ法学会を通じた参加者

本フォーラムの参加料は不要とする。

- (4) 上記参加料および支払い方法(1)から(3)のいずれにも該当しない方

申し込み後、参加内定と併せてお知らせする参加料の振込先へ、1,100円（税込）を納入のこと。

なお、参加料の振込をもって参加決定となる。

【参加料振込先】	三菱UFJ銀行 渋谷支店 普通預金 3085407
	口座名：公益財団法人日本スポーツ協会



## 14. 個人情報の取扱

本フォーラム参加に際し取得した個人情報は、公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団および都道府県体育・スポーツ協会都道府県スポーツ少年団が、本フォーラムの実施に関する業務にのみ利用し、これ以外の目的に個人情報を利用する際は、その旨を明示し、本人の了解を得るものとする。

## 15. Web 会議システムでの参加に関する注意事項

- (1) 参加者は、自己の責任において参加するために必要なパソコン、通信機器、通信回線その他の設備を準備し、管理するものとします。参加者の都合によりオンライン研修に参加できなかった場合は返金等の対応はいたしません。
- (2) 公認スポーツ指導者資格更新対象者は、入退室記録を受講証憑の一部としますので、参加者1名につき1台のパソコン等の端末を準備するものとします。
- (3) 参加するために必要な通信回線の利用料金は参加者が負担するものとします。
- (4) 参加者の各自が最新のコンピュータウィルス対策等がなされている機器を使用してください。主催者は、参加によりコンピュータウィルスや第三者の妨害等行為による不可抗力によって生じた損害等の一切の責任を負いません。

## 16. その他

- (1) オンラインでの参加に関する URL や ID、パスワードについて

Web 会議システムで参加する際に必要な URL や ID、パスワード等については、参加決定者に対して別途通知します。

- (2) 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修について

本フォーラムの参加により、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修を修了したことになります。公認スポーツ指導者資格更新対象者は、本フォーラム参加後、別途通知する参加者アンケートを指定期日までに必ず提出してください（任意回答の部分はこの限りではありません）。

※資格更新対象者が参加者アンケートを期限までに提出しなかった場合、資格更新研修を修了したことになります。また、主催者が指定する最低条件（文字数等）に到達していない場合や、課題に対する回答として明らかに相応しくない内容を提出した場合は、資格更新研修を修了したことがない場合があります。

※テニス資格は2ポイント、バウンドテニス資格は1ポイント、チアリーディング（コーチ3のみ）資格は都道府県体育・スポーツ協会実施の1回分の実績となりますが、別途、資格毎に定められたポイント獲得や研修参加などの要件を満たす必要があります。

ただし、次の資格については、更新研修を修了したことにはなりません。詳細は日本スポーツ協会のホームページをご確認ください。

[水泳、サッカー、スノーボード、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、エアロビクス（コーチ4のみ）、スクーバ・ダイビング、プロゴルフ、プロテニス、プロスキー、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャー]  
(2021年4月1日現在)

※本事業は「スポーツ振興くじ（toto）」の助成を受けて実施しています。



## 第4回ジュニアスポーツフォーラム日程表

期日： 令和3年6月13日(日)

時間	内容						
	受付						
10:00 ～ 10:30 (30分)	開会式 主催者あいさつ 来賓あいさつ 日程・資料説明						
10:30 ～ 11:30 (60分)	特別講演 「ジュニア期における暴言、暴力、 その他のハラスメントが子供に及ぼす影響、その危険性について（仮）」  演者：南部さおり（日本体育大学）						
11:30 ～ 13:00 (90分)	休憩						
13:00 ～ 15:00 (120分)	分科会						
	テーマ		座長	パネリスト			
	A	スポーツ指導における ファシリテーションの重要性	伊藤秀志 <small>（日本スポーツ少年団 指導者協議会 運営委員会）</small>	土屋裕睦 <small>（大阪体育大学）</small>	富永梨紗子 <small>（日本体育大学）</small>	吉田繁敬 <small>（アイ・プラス株式会社）</small>	
	B	青少年のスポーツの場として 選ばれる単位団・クラブになる ために	杉山康司 <small>（静岡大学）</small>	行實鉄平 <small>（久留米大学）</small>	調整中	調整中	
	C	将来のスポーツ少年団指導者と なるスポーツ少年団リーダーの 育成について	祝原豊 <small>（静岡大学）</small>	佐藤充宏 <small>（徳島大学）</small>	逸見麻衣 <small>（岡山県スポーツ少年団）</small>	調整中	
	D	スポーツ少年団活動における 反倫理的行為発覚の際の対応	菅原哲朗 <small>（キーストーン 法律事務所）</small>	榎本ゆき乃 <small>（横浜総合 法律事務所）</small>	土井香苗 <small>（ヒューマン・ライ ツ・ウォッチ 日本代表）</small>	畑中淳子 <small>（畑中法律事務所）</small>	渡邊美絵 <small>（宮城県スポーツ少年団）</small>
15:00 ～ 15:15 (15分)	休憩						
15:15 ～ 16:00 (45分)	全体会 分科会報告：各分科会座長  閉会式 主催者あいさつ						

※令和3年4月30日時点。最新の日程表は日本スポーツ協会HPをご確認ください。

<https://www.japan-sports.or.jp/club/tabid287.html>

## 静岡県スポーツ少年団母集団研修会事業実施基準要項

- 1 目 的 団運営と活動を側面から援助してくれる母集団の研修会を開催し、スポーツ少年団の健全育成に対する理解を深めることを目的とする。
- 2 主 催 公益財団法人静岡県スポーツ協会 静岡県スポーツ少年団
- 3 主 管 開催市町スポーツ少年団
- 4 後 援 開催市町教育委員会・開催市町スポーツ・体育協会
- 5 参 加 対 象 者 スポーツ少年団の指導者・役員・スタッフ・保護者・関係者など
- 6 経 費 (1) 1市町に対し 50,000 円の補助をする。  
(2) 参加料は無料とする。
- 7 事 業 期 間 令和3年4月1日～令和4年2月末日までの間（報告書提出含む）
- 8 研 修 内 容 (1) 登録全団を対象とすること （参加人数 50～100 名以上）  
(2) 2時間以上の研修会とし、講義や実習形式であること。
- 9 申 請 時 の 提 出 市町事務担当者は、実施1ヶ月前までに、事業申請書（様式1～3）に実施要項を添えて県スポーツ少年団宛に提出すること。
- 10 報 告 書 の 提 出 市町事務担当者は、事業終了後2週間以内に事業報告書（様式4～6）に領収書・実施要項・参加者名簿・請求書を添えて県スポーツ少年団に提出すること。
- 11 補助金の支給方法 補助金は、事業報告書及び収支決算書の提出をもって支給する。
- 12 実 施 上 の 注 意 (1) 補助金は5万円が限度額であるので、不足分は市町スポーツ少年団で負担する。  
(2) スポーツ少年団母集団研修会のみ補助事業とし、原則、他の事業との同時開催は認めない。  
(他の事業と兼ねる場合は事前に県本部へ確認すること)  
(3) 実施要項には、必ず1から8までの事項を入れること。  
また、6は(2)のみ記載し、研修内容については、時間・題目・講師名を入れること。  
(4) コロナ対策として、リモート開催も可能とする。

# 令和3年度静岡県スポーツ少年団初級ジュニア・リーダースクール

## 開催要項(案)

- 1 主 旨 単位スポーツ少年団における少年リーダーの資質と技能の向上をはかることを目的とし、「スポーツ少年団リーダー制度」に基づき初級ジュニア・リーダーを養成する。
- 2 主催・主管 公益財団法人静岡県スポーツ協会 静岡県スポーツ少年団
- 3 後 援 静岡県・静岡県教育委員会
- 4 期 日 東部：令和4年1月22日（土）  
中部：令和4年1月29日（土）  
西部：令和4年1月16日（日）
- 5 会 場 東部：沼津労政会館 〒410-0055 沼津市高島本町 1-3  
☎：055-921-5221  
  
中部：ローズアリーナ 〒422-0007 島田市野田 1689  
☎：0547-37-4539  
  
西部：山名コミュニティセンター 〒437-0125 袋井市上山梨 4-3-1  
☎：0538-49-3401
- 6 参 加 条 件 各市町におけるスポーツ少年団登録団員で下記参加条件全てに該当し、市町スポーツ少年団本部長の推薦する男女  
(1) 令和3年度団員登録した小学4・5・6年生、中学1・2年生  
(2) 集団生活における規律を守ることができる者  
(3) 全日程参加できる者  
(4) 事前健康調査表を正しく記載すること
- 7 参 加 者 数 東部：40名  
中部：30名  
西部：40名  
  
\* 締切後、参加者多数の場合は、県本部で調整します。  
申込期日後、受付した参加者を各関係市町に連絡します。
- 8 研 修 内 容 (1)講義による学習 (2)話し合いによる学習 (3)実技による学習
- 9 経 費 参加料 1,000円（当日会場受付で納入）
- 10 申 込 方 法 各市町スポーツ少年団本部で参加者を取りまとめ、別添参加申込用紙により県スポーツ少年団事務局まで申し込むこと。  
※申込期日 東部 令和3年 12月 日（金）  
中部 令和3年 12月 日（金）  
西部 令和3年 12月 日（金）

- 11 持 ち 物 各自運動のできる服装（ジャージ）・運動靴（上履き・下履き）・水筒・筆記用具  
・健康保険証（コピー可）・マスク
- 12 そ の 他 ①初級ジュニア・リーダースクール終了者は、静岡県スポーツ少年団において「初級ジュニア・リーダー」に認定します。本県では、平成7年度から「初級ジュニア・リーダースクール修了者」を以てジュニア・リーダースクールへの参加条件としています。
- ②当スクーリングは、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき開催する。（<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline.pdf>）
- ③発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合等は受講をお控えください。（当日受付時に別紙「**事前健康調査表**」をご提出ください。）
- ④マスクを持参し、スクーリング中はマスク着用を原則とする。スポーツ活動中以外（受講受付、移動中、休憩中等）はマスクを着用する。
- ⑤施設利用時やプログラム開始前はアルコール消毒を実施する。
- ⑥当日の昼食はこちらでお弁当を用意します。（参加料に含まれています。）
- ⑦参加のキャンセルについて、東部、中部会場は前日の正午まで、西部会場は二日前の正午までにご連絡ください。当日のキャンセルの場合は昼食代のみ徴収いたします。
- ⑧参加者はスポーツ安全保険等に参加すること。スクーリング中の傷害については、応急手当を行うが、主催者側においてその後の責任は負わない。
- ⑨当日の問い合わせはスポーツ少年団事務局携帯（050-5363-3500）までご連絡ください。
- ⑩今後の県内における新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、開催を中止する場合があります。

## 令和3年度静岡県スポーツ少年団ジュニア・リーダースクール開催要項(案)

- 1 主 旨 単位スポーツ少年団において中堅となる少年リーダーの資質の向上を図り、併せて、将来におけるスポーツ少年団指導者の養成を目的とした「スポーツ少年団リーダー制度」に基づきジュニア・リーダーを養成する。
- 2 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団  
公益財団法人静岡県スポーツ協会静岡県スポーツ少年団
- 3 後 援 静岡県・静岡県教育委員会
- 4 期 日 令和3年10月30日(土)～31日(日) 1泊2日  
＜開講式＞ 月 日 ( ) 時～
- 5 会 場 静岡県立焼津青少年の家  
☎425-0041 焼津市石津 2259-408 ☎: 054-624-4675
- 6 参加条件 各市町におけるスポーツ少年団登録団員で下記参加条件すべてに該当し、市町少年団本部長の推薦する男女  
(1) 令和3年度団員登録した小学6年生～中学生  
(2) 初級ジュニア・リーダースクール修了者  
(3) 集団生活において規律を守ることができる者
- 7 参加者数 40名 (参加者多数の場合は、県本部で調整する)  
\*申込期日後、受付した参加者を各関係市町に連絡します。
- 8 研修内容 (1) 講義による学習  
(2) 話し合いによる学習  
(3) 実技による学習  
(4) 自主プログラムによる学習
- 9 経 費 ＜参加料＞1人 3,000円(当日受付会場で納入)
- 10 申込方法 各市町スポーツ少年団本部で参加者を取りまとめ、別添参加申込用紙により  
**令和3年 月 日 ( ) 必着**で県スポーツ少年団事務局まで申し込むこと。
- 11 持 ち 物 運動のできる服装(トレーニングウェア)・運動靴(屋内、屋外用)・水とう・筆記用具・マスク・健康保健証・常備薬・洗面用具等の生活必需品  
  
＜海洋活動＞ くつした(足首がしっかりとかくれるもの)・運動靴(足の甲がかくれるもの)・帽子(紐付きの明るい色のもの)・汗拭きタオル・上下別の雨合羽

- 12 注意事項
- (1) 研修期間中、参加者は全活動に参加し、早退ほか自由行動は一切認められない。
  - (2) 本スクールは、シニア・リーダースクールに参加するための条件となるため該当者は必ず出席すること。
  - (3) 日独スポーツ少年団同時交流の派遣団員として参加するためには、シニア・リーダースクールを終了していることが条件となる事を承知しておくこと。
  - (4) 当スクーリングは、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき開催する。  
(<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline.pdf>)
  - (5) 発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合等は受講をお控えください。
  - (6) 事前に検温を実施し、受付時に提出すること。(別添「検温チェック表」)
  - (7) マスクを持参し、スクーリング中はマスク着用を原則とする。スポーツ活動中以外(受講受付、移動中、休憩中等)はマスクを着用する。
  - (8) 施設利用時やプログラム開始前はアルコール消毒を実施する。
  - (9) 欠席の連絡は 月 日 ( ) の正午までに静岡県スポーツ協会のスポーツ少年団事務局まで連絡すること。(TEL:054-265-6464) なお、 日 ( ) の正午以降に取消の場合は一日目の食事代を徴収する。
  - (10) 当日はスポーツ少年団事務局携帯 (050-5363-3500) までご連絡ください。

## 令和3年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール開催要項（案）

### 1. 趣 旨：

「日本スポーツ少年団指導者・リーダー規程」に基づき、下記の要領によりシニア・リーダースクールを開催する。本スクーリングは、リーダーの資質の向上をはかるとともに、将来のスポーツ少年団指導者の育成を目的として実施する。

### 2. 主 催：公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団

### 3. 後 援：スポーツ庁（予定）

### 4. 期 間：

講義	令和3年6月下旬～8月上旬 期間内に各自視聴
事前課題	令和3年6月下旬～7月中旬 期間内に各自実施の上、提出
事前研修	令和3年7月4日（日）〔13：00～15：00〕
全体研修	令和3年8月17日（火）～20日（金）〔各日13：00～17：00の4時間×4日間〕
事後課題	全体研修終了後～9月17日（金）期間内に各自実施の上、提出

### 5. 会 場：オンライン

### 6. 参加条件：

スポーツ少年団登録団員で下記（1）～（4）の参加条件すべてに該当し、かつ各都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。

- （1）令和3年度団員登録を行い、義務教育を修了した20歳未満<sup>※1</sup>（令和3年4月1日現在）の者
- （2）ジュニア・リーダー認定資格を有する者又は日本スポーツ少年団指導者・リーダー規程に定める活動単位により<sup>※2</sup>参加資格を認められた者
- （3）全課程に参加できる健康状態および体力・運動能力を有する者
- （4）集団生活における規律を守ることができる者
- （5）ネットワーク環境を確保し、オンラインでの活動に参加できる者
- （6）事前研修開催までにタブレットやパソコン等を準備し、簡単な文書作成等の操作スキルを身につけた上で参加できる者
- （7）メールアドレスや電話番号等、連絡先を講師・運営リーダー・他の参加者と共有できる者。

※1 令和3年度は新型コロナウイルス禍が理由であれば20歳（令和3年度4月1日時点）の団員・指導者の参加を認める。ただし、都道府県スポーツ少年団において、当該者の事情が新型コロナウイルス禍によるものであることを確認のうえ推薦することとする。

※2 令和3年度は、活動単位を満たしていない者の参加を認める。ただし、都道府県スポーツ少年団において、活動単位を満たしていない理由が新型コロナウイルス禍であることを確認のうえ推薦することとする。

### 7. 定 員：140名

各都道府県スポーツ少年団の参加枠は別紙一覧による。なお、参加者が140名に満たない場合、各都道府県スポーツ少年団から参加枠を超える推薦を受け付ける。参加枠数を超えて団員を推薦する場合は推薦順位を決定の上、推薦すること。全推薦団員に対し、推薦順位を決定の上、推薦すること。

### 8. 研修内容・実施方法：

#### （1）研修内容

日本スポーツ少年団指導者・リーダー規程に定められた養成内容に基づき研修を実施する。

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| ①スポーツ少年団とは（意義と原則／組織と活動） | ②リーダーとは              |
| ③少年期の発育発達               | ④スポーツの指導             |
| ⑤安全管理                   | ⑥体力テスト               |
| ⑦グループワーク                | ⑧スポーツ少年団員のための運動プログラム |
| ⑨交歓交流活動の実践              | ⑩研究協議                |

#### （2）実施方法

上記内容を含む40時間以上のコース（課題とオンライン研修）を実施する。

講義	日本スポーツ少年団が配信する講義動画を期間内に各自で視聴し、受講課題に回答する
事前課題	日本スポーツ少年団から送付する課題に各自で取り組み期日までに提出する
事前研修	全参加者がオンライン上で集合し、オリエンテーションを行う
全体研修	全参加者がオンライン上で集合し、スクールプログラムに取り組む
事後課題	日本スポーツ少年団から送付する課題に各自で取り組み期日までに提出する



9. 経 費：

(1) 参加料：未定

日本スポーツ少年団からの参加者決定通知受理後、参加料×人数分を  
都道府県スポーツ少年団が取りまとめの上、一括して下記口座へ納入すること。

振込先	三菱 UFJ 銀行	渋谷支店
	普通預金	No. 3085407
	公益財団法人日本スポーツ協会	

- (2) 交通費については日本スポーツ少年団が定める旅費規程に基づき補助をする。  
なお、支給方法は所属都道府県スポーツ少年団の指定銀行への口座振込とする。  
(3) 研修に必要な教材は、日本スポーツ少年団が用意する。  
(4) 研修開始前に、実施側の都合により中止が決定した場合は参加料を全額返金する。

10. オンライン研修の受講に関する注意・免責事項

- (1) 受講者は、自己の責任において受講するために必要なパソコン、通信機器、通信回線その他の設備を準備し、管理する。受講者の都合によりライブ配信研修を受講できなかった場合は返金等の対応はしない。  
(2) 受講するために必要な通信回線の利用料金は受講者が負担するものとする。  
(3) 受講者の各自が最新のコンピュータウィルス対策等がなされている機器を使用すること。主催者は、受講によりコンピュータウィルスや第三者の妨害等行為による不可抗力によって生じた損害等の一切の責任を負わない。

10. 参加申込：

都道府県スポーツ少年団は推薦者および提出書類を取りまとめ、下記により申し込むこと。

- (1) 申込先 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内  
公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団  
(2) 申込期限 令和3年5月31日(月)  
(3) 提出書類 次の①～③を都道府県スポーツ少年団がとりまとめ、日本スポーツ少年団に提出すること。  
・①申込書<別添様式1> 【都道府県スポーツ少年団作成】  
・②個人申込書<別添様式2> 【被推薦者作成】  
・③応募課題レポート<別添様式3> 【被推薦者作成】

11. 評価・認定：

全課程修了者は日本スポーツ少年団指導者・リーダー規程に基づき、シニア・リーダーとして認定を行う。

なお、課題とオンライン研修のそれぞれを対象に、日本スポーツ少年団指導育成部会にて修了の評価を行った上、認定の可否を判断する。

12. その他：

- (1) 全課程において参加者の受講免除等は認めない。  
(2) 日程等詳細については、追って日本スポーツ少年団より参加者に連絡する。  
(3) 参加申込にあたって収集した個人情報は参加可否の通知・関連資料の送付・参加者名簿作成を目的に使用することがある。また、スクーリング中に撮影した写真等については、公益財団法人日本スポーツ協会のホームページやSNS、各種報告書及び東京2020組織委員会への各種報告において利用することがある。なお、この個人情報は、参加者の同意なしに、第三者に開示・提供することはない(法令などにより開示を求められた場合を除く)。  
(4) 日本スポーツ少年団の許可なく、研修を録画した動画やスクリーンショットをSNSへの掲載、別のサイトへのアップロード、参加者以外へのメールなどによる送信をすることは認めない。  
(5) ご使用のメールソフトの設定(迷惑メールブロック等)により当協会からのメールが受信できないことがあるため、「@japan-sports.or.jp」からのメールについて受信許可設定をすること。

スポーツク



(予定)

～スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン～

暴力0(ゼロ) 心でつなぐスポーツの絆

各市町スポーツ少年団本部長 様

公益財団法人静岡県スポーツ協会  
静岡県スポーツ少年団  
本部長 海野 和雄

令和 3 年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール  
の開催について（通知）

平素よりスポーツ少年団諸事業に対し、格段なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本スポーツ少年団では、リーダーの資質向上並びに将来におけるスポーツ少年団指導者の養成を目的としたシニア・リーダースクールを、別添開催要項に基づき実施いたします。

つきましては、県本部にて取りまとめいたしますので下記のとおり貴スポーツ少年団にて選考のうえ本部長名による「参加申込書（推薦書）〈様式①-1〉及び参加者自身が記入する「参加申込書（個人提出用）〈様式 1-②〉」、「応募課題〈様式 2〉」を揃えてご推薦くださるようお願いいたします。

また、推薦にあたりましては、別添開催要項の「6. 参加条件」を参照の上、推薦順位の記入をお願いいたします。

なお、推薦者の本県の割当数は 4 名となっておりますことから、4 名を超えた場合は、県本部において協議し決定しますので、あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

記

- 1 申込期限 令和 3 年 5 月 24 日（月） 必着
- 2 提出方法 所定の事項を記載し、推薦書類を以下にご提出ください。
  - ・ 推薦書類提出先  
〒422-8004 静岡市駿河区国吉田 5-1-1  
（公財）静岡県スポーツ協会 静岡県スポーツ少年団 宛
- 3 参加条件 別添要項のとおり
- 4 経 費 参加料 1 名 7,700 円（県スポーツ協会が負担します）
- 5 そ の 他
  - （1）新型コロナウイルスの影響を踏まえ、参加条件に係る緩和措置を設けておりますので、別添開催要項をご確認ください。
  - （2）ご不明な点につきましては、静岡県スポーツ少年団までお問い合わせください。

静岡県スポーツ少年団  
担当：山下 宇光  
TEL054-265-6464

静スポ協ス少 第 号  
令和 3 年 5 月 19 日

各市町スポーツ少年団本部長 様

公益財団法人静岡県スポーツ協会  
静岡県スポーツ少年団  
本部長 海野 和雄

令和 3 年度静岡県スポーツ少年団運動適性テストⅡの実施について（通知）

日ごろ、スポーツ少年団活動に関しましては、格別なご協力を賜りお礼申し上げます。  
さて、今年度も運動適性テストⅡを実施いただきます。  
つきましては、運動適性テストⅡの実施を希望する市町は、下記により関係書類を提出くださるようお願い申し上げます。

記

- |   |       |  |                                      |
|---|-------|--|--------------------------------------|
| 1 | 対象事業  | 令和 3 年度に実施する運動適性テストⅡ   |                                      |
| 2 | 申 請   | (1) 提出書類   | 実施計画書（様式 1）                          |
|   |       | (2) 提出期限   | 実施日 2 週間前まで                          |
| 3 | 報 告   | (1) 提出書類   | 実施報告書（様式 2）                          |
|   |       | (2) 提出期限   | 令和 4 年 2 月末、又は事業終了後 2 週間以内のいずれか早い日まで |
| 4 | そ の 他 | 運動適性テストⅡの関係用品等の取り扱い・販売等については現在、調整中となっております。確認出来次第、改めてご案内いたします。 |                                      |

公益財団法人静岡県スポーツ協会  
担当：山下 宇光  
TEL：054-265-6464



スポーツくじ



## 令和3年度アクティブ チャイルド プログラム(JSP0-ACP)

### 都道府県普及促進研修会 開催要項 (案)

1. 趣 旨 :  
本研修会は、アクティブ チャイルド プログラム(JSP0-ACP)を全国的に周知・普及することを目的として、都道府県スポーツ少年団との共催により開催する。
2. 主 催 : 公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団  
各都道府県体育・スポーツ協会 都道府県スポーツ少年団  
※必要に応じ、市区町村スポーツ少年団を加えることができる
3. 後 援 (予定) : スポーツ庁
4. 会場・期日 : 各都道府県スポーツ少年団において設定する。
5. 期 間 : 令和3年4月1日～令和4年2月28日
6. 参加条件(対象者) :  
(1) スポーツ少年団関係者(指導者、リーダー、役員、スタッフ、育成母集団、保護者)  
(2) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者  
(3) 総合型地域スポーツクラブ関係者  
(4) 幼稚園、保育所等関係者  
(5) 教育委員会関係者  
(6) スポーツ推進委員  
(7) その他
7. 参加人数 : 最低 10 名以上／1 コース
8. 実施コース数 : 31 コース(都道府県体育・スポーツ協会委託分)
9. 内容および実施方法 :  
(1) 内容 :  
● アクティブ チャイルド プログラム(JSP0-ACP)に関する講義  
(1) 子どもの身体活動・運動の意義  
(2) 子どもの指導法・指導技術  
(3) 子どもの指導に関する実践事例  
● 運動遊び、指導法・指導技術に関する実技  
(1) 運動遊びの紹介  
(2) 運動遊びの展開例  
(3) 子どもの指導のポイント  
● その他(ディスカッション等)  
(2) 実施方法 :  
● 1 コースにつき、上記内容を 3 時間以上実施する。  
● 講師は、原則として「幼児期からのアクティブ チャイルド プログラム(JSP0-ACP)講師講習会」もしくは「アクティブ チャイルド プログラム(JSP0-ACP)講師講習会」受講修了者が担当するものとする。なお、同講習会受講修了者が講師を担当できない場合は、公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団に相談・確認するものとする。
10. 教材 : 「JSP0-ACP アクティブ チャイルド プログラム」(ガイドブック) 1 冊 550 円 (送料・税込)  
※1 冊 550 円は 10 部以上購入の場合であり、10 部未満の購入は 1 冊 660 円となる
11. 参加料 : 1 人最低 500 円(税込・上限なし・実施団体において必要額を徴収するものとする)
12. その他 :

本研修会の参加により、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修を修了したことになります。なお、テニス及びバウンドテニス資格は 1 ポイント、チアリーディング (コーチ 3 のみ) 資格は都道府県体育・スポーツ協会実施の 1 回分の実績となりますが、別途、資格毎に定められたポイント獲得や研修受講などの要件を満たす必要があります。ただし、次の資格については、更新研修を修了したことにはなりません。

[水泳、サッカー、スノーボード、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、エアロビック (コーチ 4 のみ)、スクーバ・ダイビング、プロゴルフ、プロテニス、プロスキー、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャー] (2021 年 4 月 1 日現在)

詳細は日本スポーツ協会のホームページをご確認ください。

## 第 52 回東海ブロックスポーツ少年大会 開催要項（案）

### 1 主 旨

本大会は、東海ブロックスポーツ少年団の団員・リーダー及び指導者が、スポーツ活動等を通じて相互の親睦と交歓を行うとともに、その資質向上を図り、地域における団活動の活性化を促進することを目的とする。

### 2 主 催

公益財団法人	日本スポーツ協会	日本スポーツ少年団
公益財団法人	静岡県スポーツ協会	静岡県スポーツ少年団
公益財団法人	岐阜県スポーツ協会	岐阜県スポーツ少年団
公益財団法人	愛知県スポーツ協会	愛知県スポーツ少年団
公益財団法人	三重県スポーツ協会	三重県スポーツ少年団

### 3 主 管

第 52 回東海ブロックスポーツ少年大会静岡県実行委員会

### 4 期 日

令和 3 年 8 月 13 日（金）～15 日（日）

※大会の開催可否については、6 月初旬までに大会実行委員会で判断します。

### 5 会 場

静岡県立三ヶ日青年の家  
〒431-1402 静岡県浜松市北区三ヶ日町都筑 523-1  
TEL. 053-526-7156

### 6 参加資格

- (1) 当該年度にスポーツ少年団登録をしている団員・リーダー及び指導者で、各県スポーツ少年団本部長が推薦した者。
- (2) 団員は、下記の項目に該当する者。
  - ① 小学校 5 年生以上の者。
  - ② 集団行動に際して、規律正しい行動がとれる者。
  - ③ 大会の全日程に参加できる健康状態及び体力・運動能力を有する者。
  - ④ 保護者及び所属単位団代表指導者の承認を得た者。
- (3) リーダーは、高校生以上の者。（静岡県は必要に応じて中学生も可能とする。）
- (4) 指導者は、下記の項目に該当する者。
  - ① 団育成に熱意があり、集団指導及びスポーツ経験の豊かな者。
  - ② 大会運営に協力できる有資格指導者（認定員・認定育成員）である者。

### 7 日 程

- (1) 別紙日程表参照

### 8 活動内容

- (1) 交歓活動 (2) スポーツ活動 (3) 創作活動

## 9 参加人数（予定）

県 名	団 員		指導者	リーダー	合 計
	男	女			
三重県	15 名	15 名	3 名	2 名	35 名
岐阜県	15 名	15 名	3 名	2 名	35 名
愛知県	15 名	15 名	3 名	2 名	35 名
静岡県	15 名	15 名	3 名	20 名	53 名
合 計	60 名	60 名	12 名	26 名	158 名

※定数を上回った場合は、標記大会に初めて参加する者を優先する。

## 10 経 費

### (1) 交通費

会場への交通費については各県自己負担とする。

### (2) 大会期間中の滞在費（宿泊費・食費）は、主催者負担とする。

### (3) 参加料は無料。

## 11 参加申込

各県スポーツ少年団は、**所定の参加申込書**により、参加者を取りまとめ、**令和3年 月 日（ ）**  
**必着**で下記まで申込みを行うこと。また、併せて電子データにて下記まで送信すること。

公益財団法人静岡県スポーツ協会  
静岡県スポーツ少年団 事務局 担当：山下  
〒422-8004 静岡県静岡市駿河区国吉田 5-1-1  
Tel：054-265-6464 Fax：054-262-3091  
E-mail：yamashita-t@shizuokaken-sports.com

## 12 服 装

### (1) 活動のしやすい服装であること。（トレーニングウェア等）

## 13 持ち物

### (1) 個人

着替え用衣類（長袖等）、タオル、パジャマ、洗面用具、運動靴（外履き・内履き）、靴下、傘、水筒、荷物袋（リュックサック・ナップサック）、健康保険証の写し、筆記用具、ティッシュペーパー、常備薬、感染対策グッズ（マスク、うがい用の紙コップ等）

### 海洋活動用持ち物

運動靴（サンダルなど、かかとやつま先、足の甲が出ている物は不可）、靴下（くるぶしが隠れる物）、帽子（紐付きの明るい色）、カップ（上下分かれている物）

注1 運動靴は、外履き用、内履き用、海洋活動用の濡れても良い物を用意することが好ましい。

注2 すべての持ち物には、必ず氏名を記入すること。

注3 団員の携帯電話、携帯ゲーム機の持ち込みは禁止する。

### (2) 団体

県スポーツ少年団旗（ポール・三脚を含む）

#### 1 4 その他

- (1) 参加者は、引率指導者のもと、8月13日（金）の〇時までに、「静岡県立三ヶ日青年の家」に集合し受付を済ませること。（施設の利用は受付終了後となる。）
- (2) 8月13日（金）の昼食は、各自で済ませておくこと。（会場内は食中毒防止等の理由から、昼食の持込みは不可。）
- (3) 参加者は、全日程に参加し、特別な場合を除き早退や自由行動は認めない。
- (4) 台風等不慮の災害による実施の可否は、8月12日（木）15時までに主催側で決定し、各県スポーツ少年団事務局へ連絡を行う。
- (5) 参加者は、スポーツ安全保険等に参加していること。なお、大会期間中の傷害や疾病については、主催者側で応急処置は行うが、その後の責任は負わない。
- (6) 参加者は、スポーツ少年団の歌「みどりの朝風」を歌えるようにしてくること。
- (7) 大会本部の電話〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇（大会期間中）※緊急の際は、大会本部へ連絡すること。
- (8) 新型コロナウイルス感染防止対策については、（別紙）本大会開催における新型コロナウイルス感染防止対策を参照。

この大会は、公益財団法人スポーツ安全協会の助成を受けて開催するものです。

## (別紙) 本大会開催における新型コロナウイルス感染防止対策

### 1 体調管理について

- (1) 大会の1週間前から健康観察と検温の実施をお願いします。
- (2) 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせます。
  - ①風邪症状（発熱〈37.5℃以上〉・咳・喉の痛み）/ 下痢・腹痛 / 味覚嗅覚異常がある場合
  - ②新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した方との濃厚接触がある場合
  - ③同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ④過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 大会期間中は、検温を1日に2回（朝と夕方）実施します。
- (4) 大会期間中に体調不良の諸症状（発熱〈37.5℃以上〉・咳・喉の痛み/ 下痢・腹痛 / 味覚嗅覚異常）（以下：体調不良者）が確認された場合、施設のガイドラインに従い、新型コロナウイルス感染症を想定して以下のように対応します。
  - ①体調不良者が発生した場合、速やかに実行委員会へ報告するとともに、保護者、家族等に連絡し、帰宅していただきます。
  - ②体調不良者は迎えが来るまで隔離し、待機していただきます。
  - ③帰宅後、体調不良者は在住地域の最寄りの病院を受診、医師の判断を受け、診断結果を実行委員会に報告してください。
  - ④実行委員会より、状況を最寄りの保健所等の医療機関に報告するとともに、発症者が確認された場合、大会実行委員会より、浜松市保健所及び担当課である静岡県教育委員会社会教育課に状況を速やかに報告します。
  - ⑤体調不良者が発生した場合、活動の一部変更や状況によっては大会の中止をする場合があります。
  - ⑥医務室の利用については、当面の間、外傷者対応のみとなるので、体調不良者は利用できません。
- (5) 帰宅後2週間以内に新型コロナ感染症と診断、又は疑う症状が見られた方がいた場合には、大会実行委員会へご連絡いただきます。また、体調不良により帰宅された方がいた場合、帰宅後の経過についても報告を求めます。

### 2 大会期間中の生活について

- (1) 参加人数は、感染リスクを考え、変更になる事があります。
- (2) マスク、うがい用の紙コップ等の感染対策グッズは各自で用意してください。
- (3) 基本的な感染症対策を徹底します。（手洗い / 咳エチケット / 換気 / 消毒）
- (4) 食事・入浴は、密集することを避けるため、時間帯をずらします。
- (5) 活動プログラムは、感染リスクを考慮した内容を大会実行委員会で検討します。



## スポーツ少年団登録規程施行細則

**第1条** この細則は、スポーツ少年団登録規程第3条および第5条に関する事項について定める。

**第2条** スポーツ少年団登録規程第3条に関しては次の通りとする。

1. 団員は、登録する年の4月1日現在満3歳以上とする。ただし満3歳以上小学生未満の者については、単位スポーツ少年団の活動内容・受入体制や当該者の体力・運動能力等を十分に考慮し、個別に対応するものとする。
2. 指導者は、登録する年の4月1日現在満18歳以上で、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格（以下「公認指導者資格」という。）保有者（ただし、スポーツリーダー資格のみを保有する者は除く。）とする。なお、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の養成講習会を受講した者は、その翌年度の登録については、公認指導者資格の認定前であっても指導者として登録することができる。
3. 単位スポーツ少年団は、原則として別表に定めるとおり、団員10名以上と指導者2名以上で構成される。また、20歳以上の指導者、役員およびスタッフのうち計2名以上の登録を必須とする。
4. 前項における指導者は、少なくともその2名以上をスポーツ少年団の理念を学んだ者〔令和元（2019）年度にスポーツ少年団認定育成員・認定員の資格を保有していた者またはスタートコーチ（スポーツ少年団）資格保有者〕としなければならない。
5. 前項にかかわらず、新規登録単位スポーツ少年団については、初年度に限りスポーツ少年団の理念を学んだ者を必置とせず、20歳以上の指導者、役員およびスタッフのうち計2名以上が登録していればよいものとする。ただし、スポーツ少年団の理念を学んだ登録指導者が1名以下の場合は、次の（1）または（2）を満たす必要がある。
  - （1）スポーツ少年団の理念を学んだ登録指導者が1名の場合  
この1名を除いた指導者、役員およびスタッフのうち少なくとも1名が、当該年度内にスタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会の受講を修了すること。
  - （2）スポーツ少年団の理念を学んだ登録指導者がいない（0名）場合  
指導者、役員およびスタッフのうち少なくとも計2名が、当該年度内にスタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会の受講を修了すること。
6. 指導者、役員およびスタッフのうち1名を代表者とする。なお、2団以上の代表者を兼ねることはできない。
7. 登録に関する手続きは、スポーツ少年団登録システムを用いて行うこととする。
8. 単位スポーツ少年団の登録にあたっては、毎年4月1日から7月31日までの期間中に、所属する市区町村スポーツ少年団に申請するものとする。
9. 市区町村スポーツ少年団は前項に規定する手続きを経た単位スポーツ少年団をとりまとめ、8月31日までの期間中に都道府県スポーツ少年団に、登録申請の届出を行う。また市区町村スポーツ少年団所属の役員およびスタッフの登録も同時に行うものとする。
10. 都道府県スポーツ少年団は、市区町村スポーツ少年団から届出のあった申請をとりまとめ、9月30日までに日本スポーツ少年団に登録申請の届出を行う。また都道府県スポーツ少年団所属の役員およびスタッフの登録も同時に行うものとする。
11. 日本スポーツ少年団への登録料は団員1名300円、指導者、役員およびスタッフ1名700円とする。

**第3条** スポーツ少年団登録規程第5条に関しては次の通りとする。

1. 新規登録単位スポーツ少年団については団認定証と認定リボンを交付するとともに情報誌「Sport Japan」を送付する。また、単位スポーツ少年団旗を保持しなければならない。
2. 更新登録単位スポーツ少年団については認定リボンを交付するとともに情報誌「Sport Japan」を送付する。
3. 団員については団員章を交付する。
4. 指導者については指導者章を交付する。

5. 役員およびスタッフについては登録証を交付する。

**第4条** 前条による認定をうけた単位スポーツ少年団、団員、指導者、役員およびスタッフは市区町村スポーツ少年団、都道府県スポーツ少年団、日本スポーツ少年団が実施する諸活動に参加する権利を有すると共に、日本スポーツ少年団の制定する標章等の使用（営利目的での使用は除く）を認められる。

**第5条** 登録者の個人情報は、公益財団法人日本スポーツ協会個人情報保護方針に基づき、日本スポーツ少年団、都道府県スポーツ少年団、市区町村スポーツ少年団等にて共同利用する。その他、個人情報取り扱いの詳細については、別途定める。

**第6条** この細則は常任委員会の議決によって変更することができる。

**附則1** 本細則は昭和61年4月1日から施行する。ただし第2条第3項については平成2年4月1日から施行する。

**附則2** 本細則は平成元年4月1日から施行する。ただし第2条第3項については平成2年4月1日から施行する。

**附則3** 本細則は平成4年10月21日から改定施行する。

**附則4** 本細則は平成7年4月1日から改定施行する。

**附則5** 本細則は平成11年4月1日から改定施行する。

**附則6** 本細則は平成17年4月1日から改定施行する。

**附則7** 本細則は平成24年11月14日から改定施行する。

**附則8** 本細則は平成26年5月23日に改定し、平成27年4月1日から施行する。

**附則9** 本細則は平成27年3月6日に改定し、平成28年4月1日から施行する。

**附則10** 本細則は平成28年11月11日に改定施行し、平成29年度登録から適用する。

**附則11** 本細則は平成30年4月1日から改定施行する。

**附則12** 本細則は令和元年5月31日に改定し、令和2年4月1日から施行する。

**附則13** 本細則は令和2年3月17日に改定し、令和2年4月1日から施行する。

**附則14**

1. 本細則は令和2年10月14日から改定施行する。

2. 第2条第4項は、令和3年度に限り全ての更新登録単位スポーツ少年団において、これを適用しない（「スポーツ少年団の理念を学んだ指導者」が1名以下でも更新登録することを可能とする）。ただし、次の（1）または（2）を満たす必要がある。

（1）スポーツ少年団の理念を学んだ登録指導者が1名の場合

この1名を除いた指導者、役員およびスタッフのうち少なくとも1名が、令和3年度にスタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会の受講を修了すること。

（2）スポーツ少年団の理念を学んだ登録指導者がいない（0名の場合）

指導者、役員およびスタッフのうち少なくとも計2名が、令和3年度にスタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会の受講を修了すること。

**附則15**

1. 本細則は令和2年11月20日に改定し、令和2年4月1日から施行する。

2. 第2条第2項の規定にかかわらず、スポーツリーダー資格のみを保有する者であっても、令和5年度までは指導者として登録することができるものとする。

**附則16**

1. 本細則は令和2年11月20日から改定施行する。

2. 第2条第2項の規定にかかわらず、令和元年度以前にシニア・リーダーとして資格認定され引き続き登録を行っている満20歳以上の者は、公認指導者資格を保有していない場合であっても、令和5年度まではスポーツ少年団の理念を学んだ指導者として登録することができるものとする。

別表（単位スポーツ少年団として構成・登録する際に必要となる最低人数）

		指導者				役員		スタッフ		団員
		理念○	理念○	理念×	理念×					
			18 歳以上		18 歳以上					
		20 歳以上	20 歳未満	20 歳以上	20 歳未満	20 歳以上	20 歳未満	20 歳以上	20 歳未満	
パターン	A	2 名								10 名
	B	1 名	1 名	1 名						10 名
	C	1 名	1 名			1 名				10 名
	D	1 名	1 名					1 名		10 名
	E		2 名	2 名						10 名
	F		2 名	1 名		1 名				10 名
	G		2 名	1 名				1 名		10 名
	H		2 名			2 名				10 名
	I		2 名			1 名		1 名		10 名
	J		2 名					2 名		10 名

理念○：第2条第4項に定めるスポーツ少年団の理念を学んだ者〔令和元（2019）年度にスポーツ少年団認定育成員・認定員の資格を保有していた者またはスタートコーチ（スポーツ少年団）資格保有者〕。

「スポーツ少年団登録規程施行細則」に定める  
単位スポーツ少年団として構成・登録する際に必要となる最低人数

1. 更新登録の場合

パターンA～J（令和3年度に限り、パターンK～Xも含めることが可能）

2. 新規登録の場合

パターンA～X

【表の見方のポイント】

以下の3つを満たす構成パターンをお示ししています。

- ①「指導者」2名以上
- ②「20歳以上」の登録者（指導者・役員・スタッフ）2名以上
- ③「スポーツ少年団の理念を学習した指導者（理念○）」2名以上※

※ただし、新規登録単位スポーツ少年団は、③について2名以下でも良い。また、令和3年度に限り、更新登録単位スポーツ少年団も③について2名以下でも良い。

		指導者※①				役員		スタッフ		団員
		理念○※②		理念×						
			18 歳以上 20 歳未満		18 歳以上 20 歳未満					
		20 歳以上		20 歳以上		20 歳以上	20 歳未満	20 歳以上	20 歳未満	
パターン	A	2 名								10 名
	B	1 名	1 名	1 名						10 名
	C	1 名	1 名			1 名				10 名
	D	1 名	1 名					1 名		10 名
	E		2 名	2 名						10 名
	F		2 名	1 名		1 名				10 名
	G		2 名	1 名				1 名		10 名
	H		2 名			2 名				10 名
	I		2 名			1 名		1 名		10 名
	J		2 名					2 名		10 名
	K	1 名		1 名						10 名
	L	1 名			1 名	1 名				10 名
	M	1 名			1 名			1 名		10 名
	N		1 名	1 名		1 名				10 名
	O		1 名	1 名				1 名		10 名
	P		1 名		1 名	2 名				10 名
	Q		1 名		1 名	1 名		1 名		10 名
	R		1 名		1 名			2 名		10 名
	S			2 名						10 名
	T			1 名	1 名	1 名				10 名
U			1 名	1 名			1 名		10 名	
V				2 名	2 名				10 名	
W				2 名	1 名		1 名		10 名	
X				2 名			2 名		10 名	

※①：指導者

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格保有者（ただし、スポーツリーダー資格のみを保有する者は除く）。

（注意）スポーツリーダーのみを保有している者（元スポーツ少年団認定員を含む）であっても、令和5年度までは「指導者」として登録することが可能である。

※②：理念○

第2条第4項に定める「スポーツ少年団の理念を学んだ者」を指す。具体的には「令和元（2019）年度にスポーツ少年団認定育成員・認定員の資格を保有していた者またはスタートコーチ（スポーツ少年団）資格保有者」。

## 令和3年度スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会開催要項

### 1 目 的

本講習会は、「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度」に基づき、スポーツ少年団をはじめ、総合型地域スポーツクラブ・学校運動部活動等において、必要最低限度の知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する「スタートコーチ（スポーツ少年団）」の養成を目的に、日本スポーツ少年団と静岡県スポーツ少年団との共催により開催する。

### 2 主 催

公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団  
公益財団法人静岡県スポーツ協会 静岡県スポーツ少年団

### 3 主 管

公益社団法人袋井市スポーツ協会 袋井市スポーツ少年団  
伊豆の国市体育協会 伊豆の国市スポーツ少年団  
公益財団法人静岡県スポーツ協会

### 4 期日及び会場

開催地	開催日	会場	締切・定員	問合せ先
袋井市	10月23日 (土)	袋井市教育会館 〒437-0013 静岡県袋井市新屋1-2-1 TEL: 0538-86-3111	9月24日(金)	〒437-0061 袋井市久能1912-1 袋井市総合体育館 さわやかアリーナ内 公益社団法人袋井市スポーツ協会 袋井市スポーツ少年団: 小林 TEL: 0538-43-1616
			60名	
伊豆の国市	11月27日 (土)	長岡中央公民館(あやめ会館) 〒410-2292 伊豆の国市長岡346-1 TEL: 055-948-1461	10月27日(水)	〒410-2292 伊豆の国市長岡346-1 (あやめ会館) 観光文化部スポーツ振興課内 伊豆の国市体育協会 伊豆の国市スポーツ少年団: 稲葉 TEL: 055-948-1460
			60名	
静岡市	12月18日 (土)	静岡県スポーツ協会会館(予定) 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田5-1-1 TEL: 054-265-6464	11月18日(木)	〒422-8004 静岡市駿河区国吉田5-1-1 公益財団法人静岡県スポーツ協会 静岡県スポーツ少年団: 山下 TEL: 054-265-6464
			60名(予定)	

### 5 日 程 (会場によって、日程が異なる場合がありますことをご了承ください。)

(時間)		9:00								18:00
(例)	受付	開講式	①	②	昼食	③	④	グループワーク	検定試験	閉講式

### 6 参加対象

令和3年4月1日現在、満18歳以上の者。

### 7 参 加 料

5,500円(税込) <テキスト代: 2,200円・受講料3,300円>

「指導者マイページ」からの申込後、日本スポーツ協会より送付されるメールに従い受講料を振込むこと。

※既に日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格等を取得している方は、テキスト代(2,200円)のみ。

(詳細は「11 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格等保持者について」を参照)



## 8 参加申込

「指導者マイページ」(<https://my.japan-sports.or.jp/login>) から申し込みを行う。

※申込方法は、別紙「令和3年度スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会指導者マイページ申込方法」をご参照ください。

## 9 カリキュラム

### (1) 集合講習（7.5 時間）

- ①スポーツの意義と価値、スポーツ少年団の理念と意義
- ②安全なスポーツ環境の整備
- ③指導のプロセス、ジュニア期のスポーツ指導
- ④指導者の責任と役割

### (2) 自宅学習（7.5 時間）

共通科目テキスト（reference Book）と専門科目テキストを原則として、検定試験までに受講者各自で学習するようにして下さい。提出の義務はありません。

（講習会の2週間前を目安に自宅へ郵送いたします。届かない場合はご一報ください。）

### (3) グループワーク（1.5 時間）

### (4) 検定試験（30 分）

講習会の最後に実施します。（20 問程度）

## 10 資格認定

- (1) 講習会修了者は、公益財団法人日本スポーツ協会から届く「登録手続き書類」に基づき、資格登録手続きを行うことで資格が認定されます。資格登録までの流れは下記のとおりです。

- ① 翌年度7月下旬：日本スポーツ協会から登録対象者（講習会受講・修了者）に対し、登録案内を郵送する。

- ② 翌年度7月下旬以降：登録対象者（養成講習会受講・修了者）が、自身で登録手続きを行う。

- ③ 翌年度10月1日：スタートコーチ（スポーツ少年団）の資格登録する。

※登録手続きの詳細は、公益財団法人日本スポーツ協会のホームページを参照すること。

※資格登録料は4年間で10,000円＜初回登録時のみ＋初期登録手数料3,000円＞

- (2) 登録による公認資格の有効期限は4年間とし、本資格を更新しようとする者は、資格有効期限の6か月前までに、日本スポーツ協会又は当該中央競技団体の定める研修を受けなければならない。（ただし、既に公認スポーツ指導者資格を有する者については、既所有資格の有効期限となる。）

## 11 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格等保持者について

- (1) 以下の関連資格をお持ちの方は、参加料はテキスト代（2,200円）のみとなります。

- ・公益財団法人日本スポーツ協会の「公認スポーツ指導者資格」取得者
- ・日本バスケットボール協会公認の「C級コーチ」以上の指導者資格取得者
- ・日本サッカー協会公認の「C級コーチ」以上の指導者資格取得者

- (2) 講習の一部免除が可能となります。当日のカリキュラムについては、テキスト交付時にご案内いたします。

## 12 その他

- (1) 「指導者マイページ」からの申し込み後、日本スポーツ協会より送付されるメールに従い受講料の支払いを完了した者を受講者として決定します。
- (2) 参加料振込み後の返金はいたしません。
- (3) 受講希望者多数の場合は、本会で調整し、他の会場での受講をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- (4) 申込者が講習会履行最低人数に満たない場合、開催を見送ることがありますことをご理解ください。
- (5) 本講習会受講に際し取得した個人情報、日本スポーツ少年団、静岡県スポーツ少年団が本講習会の受講管理に関する連絡（資料の送付等）及び関係講習会を実施する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を使用する際は、その旨を明示し了解を得るものとする。

# 個人の登録ステータス(『新規』・『継続』)の変更方法

「団員管理」「指導者管理」「役員・スタッフ管理」から個人の登録ステータス（『新規』・『継続』）の変更が行えます。

**例：令和2年度登録者の情報が表示されていなかったメンバー等を登録する際に、個人の登録ステータスが「新規」となることから、「登録完了」後に当該者の個人の登録ステータスを「継続」に変更する場合**  
(※令和2年度登録者の情報が表示されていなかった方および令和2年度未登録者が登録する場合は、個人の登録ステータスは『新規』となります)

登録ステータスの変更を行う場合は、都道府県スポーツ少年団または市区町村スポーツ少年団のアカウントにおいて、操作いただけます。

**確認手順**

左メニュー「団体管理」・「団員管理」・「指導者管理」・「役員・スタッフ管理」をクリックします。

個人の登録ステータスを変更する該当者の氏名をクリックします。



**確認手順**

「更新区分」の **編集** をクリックします。



**確認手順**

『新規』『継続』を選択します。

**保存する** をクリックします。

登録ステータスの変更作業は完了です。

## 令和３年度スポーツ少年団登録に関わる業務等について

### ○登録案内通知内容

①市町スポーツ少年団に送付されるもの（令和３年３月１７日にメールにて順次通知）

登録システムの新規アカウント発行について

②単位団への案内（令和３年３月３１日にメールにて通知）

登録システムの新規アカウント発行について

web システムのログイン画面より「マニュアル（単位スポーツ少年団向け）」を閲覧

### ○市町スポーツ少年団登録手続き

#### <ログインについて>

ログイン ID は、あらかじめ振り分けされております。10 桁の数字

登録システム新規アカウント発行の際に設定したパスワードを入力する。

（ログイン ID はメールの宛名です。）

#### <ログイン後>

下記の項目を設定していただきます。

- ・銀行口座の設定
- ・登録料の設定
- ・単位団登録期間の設定
- ・役職員の登録区分変更（市町本部役員の登録区分がすべてスタッフになっているため、役員へ変更）

### ○単位スポーツ少年団登録手続き

#### <ログインについて>

ログイン ID は、あらかじめ振り分けされております。10 桁の数字

登録システム新規アカウント発行の際に設定したパスワードを入力する。

（ログインはメールの宛名です。）

#### <ログイン後>

下記の登録作業をしていただきます。

- ・登録する指導者、団員、役員およびスタッフの生年月日を入力
- ・日本スポーツ協会公認指導者資格、日本サッカー協会および日本バスケットボール協会公認指導者資格保持者が、指導者として登録する際には資格確認のため、指導者の資格登録番号を入力する。

#### <単位団登録受付>

登録者の入力完了後、単位団の登録要件を満たすと「メンバー登録」に「確定する」ボタンが表示されます。

そのボタンをクリックすると決裁の手続きに進みますので、支払い方法を選択します。（市町スポーツ少年団によって支払い方法を統一している場合はそれに従う。）



## 登録作業の注意点

### 市町受付

令和3年4月1日～（または市町で設定した日）

- ① 単位団の登録条件をすべて満たしているか確認。（下記事項）
  - （ア）原則として団員10名以上と指導者2名以上で構成されている。
  - （イ）20歳以上の指導者、役員またはスタッフが2名以上登録されている
  - （ウ）スポーツ少年団の理念を学んだ指導者が少なくとも2名以上登録されている。
- ② 指導者の資格確認  
単位団登録指導者の「資格の確認」欄が「確認済み」になっているかどうか確認。  
令和2年度登録の際に認定員資格を保持している指導者は、新システム移行時に指導者（認定員資格保持者）として登録されておりますが、「資格の確認」を確認する必要があります。
- ③ 新規の団は団旗の購入をするように案内をする。
- ④ 複数有資格指導者の登録が義務化となっております。令和2年度まで認定員資格を保持していた指導者は2023年度までにコーチングアシスタント資格への移行についてご案内をお願いします。また、新規に指導者として登録される方にはスタートコーチ（スポーツ少年団）資格取得についてご案内をお願いいたします。  
※新規登録単位団については、初年度に限りスポーツ少年団の理念を学んだ者を必置とせず、20歳以上の役員またはスタッフが2名以上登録していればよいものとする。ただし、そのうち少なくとも2名が年度内にスタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会を受講する必要があります。

### 県提出

- ① **8月31日（火）までに** Web登録システムにて申請。
- ② 登録料（新規団の団旗料金）を送金・**指定された日まで**

令和 年 月 日

静岡県スポーツ少年団本部長 様

( 所 属 市 町 )	市・町スポーツ少年団
( 本 部 長 )	印
( 所 属 団 )	スポーツ少年団
( 単 位 団 番 号 )	2 1 - -
( 代 表 指 導 者 )	印
( 市 町 事 務 担 当 者 )	印

## 令和 3 年度静岡県スポーツ少年団特例登録申請書 (団員)

今年度、団員 ( ) 名で登録したく、申請いたします。

以下の理由および改善策を講じますので、登録許可下さるようお願いいたします。

<理由>

<改善策> (今年度中に上記を改善するために具体的にどのような活動を行うか等)

※令和 3 年度内に改善できなかった場合は、令和 4 年度の少年団登録はできません。

令和 年 月 日

静岡県スポーツ少年団本部長 様

( 所 属 市 町 )	市・町スポーツ少年団
( 本 部 長 )	⑩
( 所 属 団 )	スポーツ少年団
( 単 位 団 番 号 )	2 1 - -
( 代 表 指 導 者 )	⑩
( 市 町 事 務 担 当 者 )	⑩

## 令和 3 年度静岡県スポーツ少年団特例登録申請書 (指導者)

今年度の登録において、指導者 2 名以上がスポーツ少年団の理念を学んでいるという要件を満たさないため、今年度のスタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会を受講し、来年度の登録時には規定の指導者を確保いたしますので登録許可下さるようお願いいたします。

なお、指導者が確保できなかった場合は、令和 4 年度の登録はいたしません。

[ 様式 ]

令和     年     月     日

静岡県スポーツ少年団  
本部長    海野 和雄    様

スポーツ少年団

本部長名

㊞

### スポーツ少年団認定員資格の復活登録について

標記の件について、下記のとおり資格の復活登録の許可をいただきたくお願いいたします。

#### 記

- 1 氏            名 :
- 2 所属単位団名 :
- 3 認 定 番 号 :    2 1 K
- 4 住            所 :
- 5 電 話 番 号 :
- 6 未 登 録 理 由 :
- 7 復 活 理 由 :

**令和3(2021)年度公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団  
活動計画(令和3年4月28日時点)**

網掛部分＝令和3年4月8日時点からの主な変更箇所

下線＝令和2年度からの主な変更点

■新型コロナウイルスの影響を踏まえた、令和3年度日本スポーツ少年団が主催する国内・国際交流事業への指導者の参加条件について  
 新型コロナウイルスの影響を踏まえ、令和3年度に限り、「当該事業年度に、スポーツ少年団に『スポーツ少年団の理念』を学習した者※として『指導者』登録している者」は、「当該事業年度に、スポーツ少年団に『指導者』登録している者」に読み替えて対応するものとする。(なお、各種国内・国際交流事業において別に定める条件がある場合は、当該条件も満たす必要がある。)

※「スポーツ少年団の理念」を学習した者：「令和元(2019)年度スポーツ少年団認定育成員・認定員登録者」又は「スタートコーチ(スポーツ少年団)資格保有者」又は「当該事業前年度スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会修了者」

**1. 指導者養成・研修**

名称	①期日(予定) ②開催場所(予定) ③参加者数 ④参加料・受講料等(一人あたり)	参加対象・参加条件・経費等
(1) スタートコーチ(スポーツ少年団) インストラクター移行研修会	①令和3年10月～11月[1日] ②全国7会場 ③350名 ④2,200円	・参加対象者 令和元年度(2019年度)にスポーツ少年団認定育成員としてスポーツ少年団に登録し、継続してスポーツ少年団登録している者  ・全国7会場(北海道ブロック、東北ブロック、関東ブロック、北信越ブロック、近畿ブロック、四国ブロック、九州ブロック)
(2) スタートコーチ(スポーツ少年団) インストラクター養成講習会	①令和3年10月～11月[2日間] ②大阪府 ③50名程度 ④4,400円	・参加対象者 令和3年度にスポーツ少年団に登録し、都道府県スポーツ少年団が推薦する者
(3) スタートコーチ(スポーツ少年団) 養成講習会	①令和3年4月1日(木) ～令和4年2月28日(月)[1日] ②都道府県にて実施 ③— ④実施団体にて設定	・ <u>対面開催を原則とするが、オンライン開催も可能とする。</u>
(4) 第4回ジュニアスポーツフォーラム	①令和3年6月13日(日) ②オンライン開催 ③500名程度 ④1,100円	・参加対象者 スポーツ少年団登録指導者及び各都道府県リーダー代表者1名、リーダー育成担当者1名、ジュニアスポーツに関わる法律実務家・研究者及び当協会公認スポーツ指導者資格保有者 他
(5) アクティブ チャイルド プログラム(JSPO-ACP) 講師講習会	①令和3年5月～令和4年2月[2日間] ②全国3会場(東・中・西) ③150名程度 ④5,500円	・参加対象者 都道府県体育・スポーツ協会から推薦された者(原則1名)、都道府県スポーツ少年団から推薦された者(原則3名)、日本スポーツ少年団から推薦された者(若干名)。都道府県スポーツ少年団から推薦される者のうち最低1名は、スポーツ少年団登録者であることが望ましい。 ・ <u>対面開催を原則とする。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンライン参加を併用する形態で開催する場合がある。</u>
(6) アクティブ チャイルド プログラム(JSPO-ACP) 講師講習会受講修了者ブラッシュアップセミナー	①令和3年5月～令和4年2月[1日] ②全国3会場(東・中・西) ③90名程度 ④4,400円	・参加対象者 「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム講師講習会」もしくは「アクティブ・チャイルド・プログラム講師講習会」受講修了者 ・ <u>対面開催を原則とする。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンライン参加を併用する形態で開催する場合がある。</u>
(7) アクティブ チャイルド プログラム(JSPO-ACP) 都道府県普及促進研修会 —委託30コース(予定)—	①令和3年4月1日～令和4年2月28日[1日] ②都道府県にて実施 ③— ④実施団体にて設定(下限:500円)	・参加対象者 スポーツ少年団関係者、JSPO公認スポーツ指導者、総合型地域スポーツクラブ関係者、幼稚園・保育所等関係者、教育委員会関係者等(最低10名以上/1コース)  ・講師 原則として「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム講師講習会」もしくは「アクティブ・チャイルド・プログラム講師講習会」受講修了者とする  ・カリキュラム アクティブ・チャイルド・プログラムに関する講義、運動遊び、指導法・指導技術に関する実技、その他(ディスカッション等)3時間以上とする  ・「運動遊び、指導法・指導技術に関する実技」については、「運動遊び、指導法・指導技術に関する講義(座学)」への代替やオンライン研修として実施を認める緩和措置を講じる。[令和2年度と同様の措置]

**2. 指導者協議会**

名称	①期日(予定) ②開催場所(予定) ③参加者数 ④参加料・受講料等(一人あたり)	参加対象・参加条件・経費等
(1) 全国スポーツ少年団指導者協議会	①令和3年6月12日(土) ②オンライン開催 ③50名程度 ④無料	・参加対象者 指導者協議会等代表1県1名(スポーツ少年団の理念を学んだJSPO公認スポーツ指導者資格保有者)  ・当協会旅費基準により交通費を支給(宿泊費は上限8,000円を補助) ※オンライン開催に係る対応については検討中
(2) ブロック指導者研究協議会 —組織整備強化(助成)—	①令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木) ②各ブロックにて開催 ③— ④—	・参加者はスポーツ少年団に「指導者」登録している者を対象とし、具体的にはブロックにおいて定める  ・各ブロックにおいて実施要項を作成

## 3. リーダー養成・研修

名称	①期日(予定) ②開催場所(予定) ③参加者数 ④参加料・受講料等(一人あたり)	参加対象・参加条件・経費等
(1) シニア・リーダースクール	①令和3年8月17日(火)～20(金) ＜事前研修会＞ 令和3年7月4日(日) ②オンライン開催(事前研修会もオンライン開催) ③140名 ④7,700円	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者 次の条件を満たし都道府県スポーツ少年団が推薦する者 (令和3年度にスポーツ少年団に団員として登録する、義務教育終了者で20歳未満のジュニア・リーダー資格を有する者または所定の活動単位数を満たした者。)</li> <li>新型コロナウイルス禍が理由であれば、活動単位を満たしていない団員、20歳の団員の参加を都道府県スポーツ少年団本部長特別推薦によって認める。</li> </ul>
(2) ジュニア・リーダースクール ー組織整備強化(助成)ー	①令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木) ②都道府県にて実施 ③— ④—	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者 令和3年度にスポーツ少年団に「団員」登録している小学校5年生以上中学生までの者で、所属市区町村スポーツ少年団本部長の推薦を受けた者。ただし、令和3年度及び令和4年度に限り、開催する都道府県スポーツ少年団の判断で、参加資格(年齢)の上限を上げる(高校生以上の参加を認める)ことを可能とする。</li> <li>都道府県において実施要項を作成</li> <li>20時間以上のプログラム実施時間を確保できない場合は、8時間を上限にレポート課題で補填することができる。(レポート1つにつき4時間) [令和2年度と同様の措置]</li> <li>話し合いのプログラムを他のプログラムで代替することができる。 [令和2年度と同様の措置]</li> </ul>
(3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会	①令和3年6月12日(土)～13日(日) ②オンライン開催 ③各都道府県2名まで ④無料	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者 各都道府県リーダー代表者1名、リーダー育成担当者1名</li> </ul>
(4) ブロックリーダー研究大会 ー組織整備強化(助成)ー	①令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木) ②各ブロックにて開催 ③— ④—	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者 ブロック内都道府県スポーツ少年団リーダー代表者、リーダー育成担当者</li> <li>各ブロックにおいて実施要項を作成</li> </ul>

## 4. 国内交流

名称	①期日(予定) ②開催場所(予定) ③参加者数 ④参加料・受講料等(一人あたり)	参加対象・参加条件・経費等
(1) 第59回全国スポーツ少年団大会 (リーダーズアクション2021)	①令和3年9月18日(土)～20日(月) ②東京都 ③288名 ④13,200円	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者(指導者) 令和3(2021)年度にスポーツ少年団に「指導者」登録している者</li> <li>参加対象者(団員) 令和3年度にスポーツ少年団に「団員」登録している、開催年の4月1日現在、中学1年生以上高校3年生相当の年齢の者。 ※ジュニア・リーダー資格を有しており、かつ、所属の都道府県スポーツ少年団本部長が特別に推薦する場合に限り小学6年生の者でも参加を認める。また、新型コロナウイルス禍が理由であれば、ジュニア・リーダー資格を保有していない小学6年生であっても、都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者については参加を認める。</li> <li>各都道府県の参加者枠は、各団員5名、指導者1名(開催都道府県は団員10名、指導者2名)(計288名)</li> <li>宿泊費、食事代は主催者負担(大会旅費基準により交通費(指導者・団員ともに往復の2分の1)を補助)</li> <li>参加者は交歓記念品として500円程度の民芸品を準備</li> </ul>
(2) 第43回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	①令和3年8月13日(金)～16日(月) ②沖縄県 ③256名 ④無料	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者(指導者) 令和3(2021)年度にスポーツ少年団に「指導者」登録している者で、集団指導の能力に優れ、所属都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。</li> <li>参加対象者(団員) 令和3年度にスポーツ少年団に「団員」登録している者</li> <li>チーム編成は、指導者2名、団員14名(小学4～6年生)【同一単位団所属】</li> <li>参加チーム数は、16チーム(計256名)／(北海道1、東北2、関東2、北信越1、東海2、近畿2、中国2、四国1、九州2、開催地1) *参加チームはブロック内で決定</li> <li>宿泊費、食事代は当協会負担</li> <li>参加者は交歓記念品として500円程度の民芸品を準備</li> <li>全日本軟式野球連盟の「学童野球に関する投球数制限ガイドライン」を適用する</li> </ul>
(3) 第44回全国スポーツ少年団剣道交流大会	①令和4年3月26日(土)～28日(月) ②高知県 ③384名 ④無料	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者(指導者) 令和3(2021)年度にスポーツ少年団に「指導者」登録している者で、集団指導の能力に優れ、所属都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。</li> <li>参加対象者(団員) 令和3年度にスポーツ少年団に「団員」登録している者</li> <li>各都道府県の参加者枠は、指導者1名、団員7名</li> <li>団体戦:男女計5名(小学校4～6年生)【同一市区町村スポーツ少年団所属】</li> <li>個人戦:男子(中学生1名)、女子(中学生1名)</li> <li>宿泊費、食事代は当協会負担</li> <li>参加者は交歓記念品として500円程度の民芸品を準備</li> </ul>

(4) 第19回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	①令和4年3月27日(日)～30日(水) ②島根県 ③720名(女子)、150名(男子) ④無料	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者(指導者)               <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和3(2021)年度にスポーツ少年団に「指導者」登録している者で、集団指導の能力に優れ、所属都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。②指導者(監督・コーチ)のうち1名は、公益財団法人日本スポーツ協会公認バレーボールスタートコーチ、コーチ1、コーチ2、コーチ3若しくはコーチ4有資格者、又は公益財団法人日本バレーボール協会若しくは日本小学生バレーボール連盟が共催する全国小学生バレーボール指導者研修会の受講者。なお、試合時にはそれらを証明する証明書等を所持すること</li> </ul> </li> <li>参加対象者(団員)               <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度にスポーツ少年団に「団員」登録している者</li> </ul> </li> <li>チーム編成は、指導者2名、団員12名(小学3～6年生)以内、必要に応じてマネージャー1名をおくことができる【団員は同一単位団所属】</li> <li>マネージャーは、役員またはスタッフとして登録している者でも可</li> <li>参加チーム数               <ul style="list-style-type: none"> <li>[女子] 全国48チーム 計720名(47都道府県及び開催県から選出) / [男子] 全国10チーム 計150名(全国9ブロック及び開催県から選出)</li> </ul> </li> <li>宿泊費、食事代は当協会負担</li> <li>参加者は交歓記念品として500円程度の民芸品を準備</li> </ul>
(5) 第43回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会 ー助成ー	①令和3年8月13日(金)～16日(月) ②滋賀県 ③— ④2,000円	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者               <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3(2021)年度スポーツ少年団及び日本ホッケー協会の登録を完了した者</li> </ul> </li> <li>チーム編成は、指導者3名、団員12名(小学4～6年生)以内</li> <li>各都道府県の参加チーム枠は、男女各1チーム</li> </ul>
(6) ブロックスポーツ少年団大会 ー組織整備強化(助成)ー	①令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木) ②各ブロックにて実施 ③— ④—	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者               <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3(2021)年度にスポーツ少年団に登録する団員・指導者</li> </ul> </li> <li>各ブロックにおいて実施要項を作成</li> </ul>
(7) ブロック競技別交流大会 ー組織整備強化(助成)ー	①令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木) ②各ブロックにて実施 ③— ④—	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者               <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3(2021)年度にスポーツ少年団に登録する団員・指導者</li> </ul> </li> <li>各ブロックにおいて実施要項を作成(原則として4競技以上)</li> </ul>

JFA 第45回全日本U-12サッカー選手権大会は、公益財団法人日本サッカー協会と日本スポーツ少年団の共催により、令和3年12月下旬に鹿児島県にて開催

## 5. 国際交流

名称	①期日(予定) ②開催場所(予定) ③参加者数 ④参加料・受講料等(一人あたり)	参加対象・参加条件・経費等
(1) 第48回日独スポーツ少年団同時交流(派遣)	①令和3年7月25日(日)～8月1日(日) ※7月28日(水)は休息日 ＜事前研修会＞ 令和3年6月26日(土) ②オンライン開催(事前研修会もオンライン開催) ③団員76名 ④無料	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者(団員): 令和2(2020)年度、令和3(2021)年度スポーツ少年団登録者で、以下のいずれかに該当する1997年4月2日～2006年4月1日生まれの人(交流年度に16歳～24歳の誕生日を迎える者)。※ただし、令和2(2020)年度の本交流申込者として、都道府県スポーツ少年団から当協会に推薦されていた者を除く</li> <li>シニア・リーダー資格を有する者</li> <li>所定の活動単位取得者(計20単位以上)</li> <li>都道府県スポーツ少年団本部長が特別に推薦する者</li> <li>過去に本交流に参加実績がある者</li> <li>※都道府県スポーツ少年団は、推薦にあたり令和2(2020)年度推薦者(新型コロナウイルスの影響により開催中止)を優先するよう配慮すること</li> <li>※指導者の募集は行わない。</li> </ul>
(2) 第48回日独スポーツ少年団同時交流(受入)	※両国の派遣団員同士によるオンライン交流となるため、受入事業は行わない。	
(3) 2021年日独スポーツ少年団指導者交流(派遣)	①令和3年10月3日(日)～16日(土) 〔日本発着:14日間〕 ＜事前研修会＞令和3年9月頃 ②ドイツ各地 ＜事前研修会＞東京都 ③10名 ④150,000円	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象者: 令和3(2021)年度にスポーツ少年団に「指導者」登録している者又は都道府県・市区町村スポーツ少年団事務担当者で原則として50歳までの者</li> </ul>
(4) 2021年日独スポーツ少年団指導者交流(受入)	①令和3年10月29日(金)～11月10日(水) 〔日本発着:14日間〕 ②広島県、高知県、東京都 ③10名 ④—	ドイツスポーツユース指導者
(5) 2021年日中青少年スポーツ交流(受入)	①令和3年8月〔7日間〕 ②北海道・東北ブロック ③40名 ④—	・中止について中国側に提案中
(6) 2020年日独スポーツ少年団ユースキャンプ (2021年実施)	①(当初予定) 令和3年7月22日(木)～8月5日(木) ※ドイツ側と最終調整中 ＜事前研修会＞ 令和3年5月15日(土) ②オンライン開催を検討中 ＜事前研修会＞ オンライン開催 ③60名 ④150,000円	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者数は指導者10名を含む</li> <li>事業期間は令和3年8月2日(月)～5日(木)でドイツ側と最終調整中</li> <li>参加対象者(指導者): 令和2(2020)年度及び令和3(2021)年度にスポーツ少年団に「指導者」登録している者で、原則として51歳以下(2021年4月1日現在)の者</li> <li>参加対象者(団員): 原則として15～21歳(2021年4月1日現在)の令和2(2020)年度及び令和3(2021)年度スポーツ少年団登録団員。ただし、主催者が認めた場合に限り24歳までの登録団員を参加可能とする。</li> <li>欠員補充のための参加者募集にかかる参加資格については開催要項を参照</li> </ul>

## 6. 広報出版

名称	備考
(1) 豊かなスポーツライフをサポートする情報誌「Sport Japan」の発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 奇数月10日(年6回発行)</li> <li>・ 単位スポーツ少年団に2冊配布</li> <li>・ 都道府県、市区町村スポーツ少年団に2冊配布</li> </ul>
(2) ガイドブック「スポーツ少年団とは」の作製・配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ少年団のガイドブック及び育成母集団研修会用教材として発行</li> <li>・ 市区町村スポーツ少年団、関係者 他(当協会ホームページ上にも公開)</li> </ul>
(3) スポーツ少年団「PRリーフレット」の作成(PDF)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当協会ホームページ上に公開</li> </ul>
(4) スポーツ少年団年鑑「スポーツ少年団育成報告書」の作製・配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当協会ホームページ上に公開(<a href="#">各都道府県・市区町村スポーツ少年団にPDF版を配布</a>)</li> </ul>
(5) 「リーダー育成マニュアル」の作成(PDF)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジュニア・リーダー及びシニア・リーダー育成の手引書として作成</li> <li>・ 当協会ホームページ上に公開</li> </ul>
(6) 広報活動ガイドの公開(PDF)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当協会ホームページ上に公開</li> </ul>
(7) アクティブ チャイルド プログラム(JSPO-ACP)ガイドブックの作製・販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有料販売を実施</li> </ul>

## 7. 少年団顕彰

名称	備考
少年団顕彰(表彰、感謝状贈呈)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本スポーツ少年団顕彰要綱・同施行基準に基づき、都道府県スポーツ少年団の推薦によって、永年にわたり少年団の発展に貢献し特に顕著な功績がある市区町村スポーツ少年団と登録者を表彰、退任者に感謝状を贈呈</li> </ul>

## 8. 研究調査

名称	備考
(1) 専門部会(指導育成部会、活動開発部会、広報普及部会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年4回程度開催(各部会)</li> </ul>
(2) プロジェクト・ワーキンググループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>① 青少年スポーツ振興プロジェクト</li> <li>② スポーツ安全対策プロジェクト</li> <li>③ <b>スポーツ少年団緊急対策プロジェクト</b></li> </ul> </li> <li>・ ワーキンググループ <ul style="list-style-type: none"> <li>① リーダー制度改定ワーキンググループ</li> <li>② スポーツ少年団登録システム検討ワーキンググループ</li> </ul> </li> <li>・ その他研究調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「少年スポーツのあり方」関連の各種研究調査</li> <li>・ 「日本スポーツ少年団第10次育成6か年計画-アクションプラン2017-」の遂行に必要な各種調査</li> <li>・ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組みに係る各種研究調査</li> </ul> </li> </ul>

## 9. 組織整備強化

名称	備考
(1) 都道府県関係組織整備強化費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登録実績を基準に、基礎配分+登録数配分で各都道府県へ助成</li> <li>・ 実施要項に基づく、次の内容に充当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都道府県スポーツ少年団強化育成費</li> <li>・ 県内研修(指導者、リーダー、母集団等)、ジュニア・リーダー養成等</li> <li>・ 都道府県スポーツ少年団強化育成及び管理費</li> <li>・ 指導者組織/リーダー組織の育成援助、県内組織の強化に関する運営管理、登録処理・管理等</li> <li>・ ブロック会議(出席旅費)</li> </ul> </li> </ul>
(2) ブロック関係組織整備強化費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当県に対し、定額助成</li> <li>・ ブロック指導者研究協議会費/ブロック会議開催費/日本スポーツ少年団常任委員会出席旅費/ブロック大会開催費/ブロックリーダー研究大会開催費/全国大会準備費(全国スポーツ少年大会、全国競技別交流大会)</li> </ul>
(i) ブロック大会開催費(競技別交流大会・少年大会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ① ブロックスポーツ少年大会: 全国9ブロック (@10万円×ブロック内県数)</li> <li>・ ② ブロック競技別交流大会: 1競技あたり10万円×ブロック内県数×競技数(上限: 4競技)</li> </ul>
(ii) ブロックリーダー研究大会開催費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブロック内リーダー代表等の研修 全国8ブロック (@5万円×50県)</li> </ul>



## 10. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた取組

名称	備考
(1) フェアプレーの推進 ◇2021年(東京2020大会)までの取組	・「フェアプレーで日本を元気に」キャンペーンの推進(「フェアプレー宣言」、「フェアプレー大賞」参画、「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」の奨励)
(2) 全国スポーツ少年団活動 ◇2021年(東京2020大会)までの取組	・ 全国一斉活動の実施 ・ 平和スローガンの募集
(3) オリ・パラへの参画 ◇2021年(東京2020大会)までの取組	・ 大会開催年に全国各地で実施される大会セレモニーや大会運営にスポーツ少年団が参画できるよう、関係機関等に対して働きかけを行う ・ 東京2020 みんなのエスコートキッズプロジェクトの実施
(4) 組織基盤整備 ◇2021年(東京2020大会)以降を見据えた取組	・ 登録システムの改修・連携 ・ 地域スポーツクラブとしての組織基盤の充実 ・ スポーツ少年団活動への総合型地域スポーツクラブ関係者の参加促進

## 11. その他

名称	備考
(1) 体力テスト実施普及	・ 運動適性テストⅡの普及促進、集計プログラムの頒布 ・ ホームページによる運動適性テストⅡの集計結果の公表
(2) 登録認定関係	・ 団旗、登録認定関係資料の作成・配布 ・ スポーツ少年団登録システムによる登録データの管理業務 ・ 登録システムの改修・連携
(3) 都道府県スポーツ少年団事務担当者会議	・ 当該年度に係わる事務手続きの円滑化のため開催
(4) 暴力行為等根絶に向けた取組	・ 暴力行為等根絶に向けた周知啓発等
(5) 組織基盤整備 ◇2021年(東京2020大会)以降を見据えた取組	・ 地域スポーツクラブとしての組織基盤の充実 ・ スポーツ少年団活動への総合型地域スポーツクラブ関係者の参加促進

# 令和3（2021）年度公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団 新型コロナウイルスの影響を踏まえた対応一覧

令和3年4月28日時点

## ■用語解説

- ・対面開催：会場（現地）での開催
- ・オンライン開催：Web会議システム（Zoom等）を用いた開催

## ■備考

- ・「新型コロナウイルスを踏まえた対応欄」が空欄の事業については、現時点では具体的な対応は明確になっておりません。

網掛部分＝令和3年2月26日時点からの主な変更箇所

## 1. 指導者養成・研修

名称	新型コロナウイルスを踏まえた対応
(1) スタートコーチ（スポーツ少年団）インストラクター移行研修会	
(2) スタートコーチ（スポーツ少年団）インストラクター養成講習会	
(3) スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会	・対面開催を原則とするが、オンライン開催も可能とする。
(4) 第4回ジュニアスポーツフォーラム	・オンライン開催
(5) アクティブ チャイルド プログラム（JSP0-ACP）講師講習会	・対面開催を原則とする。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンライン参加を併用する形態で開催する場合がある。
(6) アクティブ チャイルド プログラム（JSP0-ACP）講師講習会受講修了者ブラッシュアップセミナー	・対面開催を原則とする。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンライン参加を併用する形態で開催する場合がある。
(7) アクティブ チャイルド プログラム（JSP0-ACP）都道府県普及促進研修会 －委託30コース（予定）－	・「運動遊び、指導法・指導技術に関する実技」については、「運動遊び、指導法・指導技術に関する講義（座学）」への代替やオンライン研修として実施を認める緩和措置を講じる。 〔令和2年度と同様の措置〕

## 2. 指導者協議会

名称	新型コロナウイルスを踏まえた対応
(1) 全国スポーツ少年団指導者協議会	・オンライン開催
(2) ブロック指導者研究協議会 －組織整備強化（助成）－	

## 3. リーダー養成・研修

名称	新型コロナウイルスを踏まえた対応
(1) シニア・リーダースクール	・新型コロナウイルス禍が理由であれば、活動単位を満たしていない団員、20歳の団員の参加を都道府県スポーツ少年団本部長特別推薦によって認める。
(2) ジュニア・リーダースクール －組織整備強化（助成）－	・令和3年度及び令和4年度に限り、開催する都道府県スポーツ少年団の判断で、参加資格（年齢）の上限を上げる（高校生以上の参加を認める）ことを可能とする。 ・20時間以上のプログラム実施時間を確保できない場合は、8時間を上限にレポート課題で補填することができる（レポート1つにつき4時間）〔令和2年度と同様の措置〕 ・話し合いのプログラムを他のプログラムで代替することができる。〔令和2年度と同様の措置〕
(3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会	・オンライン開催
(4) ブロックリーダー研究大会 －組織整備強化（助成）－	

## 4. 国内交流

名称	新型コロナウイルスを踏まえた対応
(1) 第59回全国スポーツ少年大会（リーダーズアクション2021）	・指導者の参加条件は「当該事業年度に、スポーツ少年団に『指導者』登録している者」とする ・新型コロナウイルス禍が理由であれば、ジュニア・リーダー資格を保有していない小学6年生であっても、都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者については参加を認める。
(2) 第43回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	・指導者の参加条件は「当該事業年度に、スポーツ少年団に『指導者』登録している者」とする
(3) 第44回全国スポーツ少年団剣道交流大会	・指導者の参加条件は「当該事業年度に、スポーツ少年団に『指導者』登録している者」とする
(4) 第19回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	・指導者の参加条件は「当該事業年度に、スポーツ少年団に『指導者』登録している者」とする
(5) 第43回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会 －助成－	・指導者の参加条件は「当該事業年度に、スポーツ少年団に『指導者』登録している者」とする
(6) ブロックスポーツ少年大会 －組織整備強化（助成）－	
(7) ブロック競技別交流大会 －組織整備強化（助成）－	

## 5. 国際交流

名称	新型コロナウイルスを踏まえた対応
(1) 第48回日独スポーツ少年団同時交流（派遣）	・都道府県スポーツ少年団における団員の推薦にあたっては、令和2(2020)年度推薦者（新型コロナウイルスの影響により開催中止）を優先するよう配慮いただく
(2) 第48回日独スポーツ少年団同時交流（受入）	・両国の派遣団員同士によるオンライン交流となるため、受入事業は行わない
(3) 2021年日独スポーツ少年団指導者交流（派遣）	・参加対象者：令和3（2021）年度にスポーツ少年団に「指導者」登録している者又は都道府県・市区町村スポーツ少年団事務担当者で原則として50歳までの者
(4) 2021年日独スポーツ少年団指導者交流（受入）	
(5) 2021年日中青少年スポーツ交流（受入）	・実施について中国側と調整中
(6) 2020年日独スポーツ少年団ユースキャンプ（2021年実施）	・オンライン開催を検討中 ・参加対象者（指導者）：令和2（2020）年度および令和3（2021）年度にスポーツ少年団に「指導者」登録している者で、原則として51歳以下（2021年4月1日現在）の者 ・参加対象者（団員）：原則として15～21歳（2021年4月1日現在）の令和2（2020）年度及び令和3（2021）年度スポーツ少年団登録団員。ただし、主催者が認めた場合に限り24歳までの登録団員を参加可能とする。

## 6. その他

- (1) 単位スポーツ少年団の更新登録において、「スポーツ少年団の理念を学んだ指導者」が1名以下でも登録することを可能とする。  
 ただし、次の（1）または（2）を満たす必要がある。  
 （1）スポーツ少年団の理念を学んだ登録指導者が1名の場合  
 この1名を除いた指導者、役員およびスタッフのうち少なくとも1名が、令和3年度にスタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会の受講を修了すること。  
 （2）スポーツ少年団の理念を学んだ登録指導者がいない（0名）場合  
 指導者、役員およびスタッフのうち少なくとも2名が、令和3年度にスタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会の受講を修了すること。
- (2) 元スポーツ少年団認定育成員のスタートコーチ（スポーツ少年団）インストラクターへの移行期間を1年延長する。  
 令和元（2019）年～令和5（2023）年度末⇒令和元（2019）年～令和6（2024）年度末
- (3) 令和元年度にスタートコーチ（スポーツ少年団）インストラクターに委嘱された者の委嘱期間を1年延長する。  
 令和2（2020）～令和5（2023）年度末⇒令和2（2020）～令和6（2024）年度末

## 令和3年度スポーツ少年団全国一斉活動 実施要項



### 1. 趣旨

日本スポーツ少年団は、1964年東京オリンピックの開催を2年後に控えた1962年、青少年へのオリンピック・ムーブメントの正しい理解啓発などを目標とした「オリンピック青少年運動」の取組を背景に「スポーツによる青少年の健全育成」を目的として創設されて以来、地域社会に根差した青少年団体として、スポーツ活動を中心としながら、文化活動、奉仕活動、野外活動等により、青少年の成長を促す幅広い活動を行ってきた。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機に、「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する」という理念の一つに基づき、全国各地で実施する美化活動、環境ボランティア活動、平和活動、国際交流活動などの社会貢献活動を通して、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントへの理解を深める活動を実施する。

なお、本活動では全国のスポーツ少年団の活動を時間(分)×人数(人)で集計し、第1回オリンピック競技大会(アテネ)から第32回オリンピック競技大会(東京)までの期間にあたる約125年分の活動となることを目標とする。

### 2. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団  
都道府県体育・スポーツ協会 都道府県スポーツ少年団  
市区町村体育・スポーツ協会 市区町村スポーツ少年団  
単位スポーツ少年団

### 3. 活動実施期間

令和3年4月1日(木)～令和4年2月28日(月)〔予定〕

※過去〔平成29(2017)年4月以降〕に実施した活動についても報告可能

### 4. 活動内容

日本・都道府県・市区町村・単位スポーツ少年団(以下、各級スポーツ少年団)が、自らの活動の中心となる都道府県、市区町村において、社会貢献活動や地域のスポーツ少年団同士の交流活動等を実施する。

※ 具体的な活動日及び活動内容は、各級スポーツ少年団において決定してください

- (1) 清掃・美化・環境保全活動(例:地域における清掃活動等)
- (2) 複数の単位団が関わる交流(例:市区町村や都道府県内外の単位団による交流活動等)
- (3) 国際交流(例:海外からの青少年とのスポーツ交流等)
- (4) スポーツボランティア(例:地域の方を対象にしたスポーツ体験活動等)
- (5) 障がい者スポーツ、障がい者への理解を深める活動(例:障がい者スポーツ体験等)
- (6) 平和学習(例:平和について考えるディスカッション等)
- (7) その他、地域社会に貢献する活動

※ 各スポーツ少年団が主催した(主体となった)活動が対象となります。

他の団体が主催する関連活動への参加は対象となりません。

## 5. 参加対象者

- (1) 令和3年度スポーツ少年団登録団員、指導者、役員・スタッフ
- (2) (1)の登録者が所属する各級スポーツ少年団等の活動に賛同する地域の人々や保護者等

## 6. 活動報告

- (1) 各級スポーツ少年団にて活動実施後、当協会ホームページ上のオンラインフォームから報告をお願いします。  
<https://www.japan-sports.or.jp/club/tabid1100.html>  
日本スポーツ協会>トップページ>スポーツ少年団>東京2020大会への取組(一斉活動)
- (2) 報告フォーム送信後、「jjsa@japan-sports.or.jp」から自動返信メールが届きます  
メール設定(迷惑メールブロック)等により受信できないことがあるため、「@japan-sports.or.jp」からのメールが受信できるよう設定をお願いします。
- ※ 過去[平成29(2017)年4月以降]に実施した活動についてもご報告いただけます
- ※ 期間中に実施する活動数に上限はありません。(同一団による複数回の活動報告も可能です)  
(例:10月1日、12月1日～2日に活動を実施した場合、それぞれの活動報告をお願いします)
- (3) 令和3年9月5日(日)までに実施し、9月12日(日)までにご報告いただいた場合、「東京2020参画プログラム」として活動認証を受けることができます。

## 7. 参加証

- (1) 当協会に活動報告を行った団に対して、参加証[2種類:単位団用(PDF)、個人用(Word)]をお送りします
- (2) 参加証(2種類:単位団用、個人用)
  - ① 当協会ホームページ上のオンラインフォームに入力いただいたメールアドレス宛に参加証データをお送りします。  
<送付予定時期>  
・令和3年9月5日(日)までに実施し、9月12日(日)までにご報告いただいた場合  
→10月中旬以降  
※令和3年4月1日から令和3年9月5日までの活動の報告のみ、東京オリンピック・パラリンピック参画プログラムロゴ入りの参加証  
・令和4年2月28日(月)までに実施し、3月6日(日)までにご報告いただいた場合  
→3月中旬以降  
※こちらでご報告いただいたものは全て日本スポーツ少年団のロゴのみの参加賞
  - ② 参加証(単位団用)は参加人数に関わらず、一回の活動報告につき一枚となります
  - ③ 参加証(個人用)は氏名欄の編集が可能ですので、当該団において入力の上、各参加者にお渡しください。

## 8. 東京2020応援プログラムへの認証について

令和3年9月5日(日)までに実施し、9月12日(日)までに当協会にご報告いただいた場合、下記に同意したとみなし、「東京2020参画プログラム」に認証される活動として扱われます。

- (1) 期間中の報告は、公益財団法人日本スポーツ協会が取りまとめを行い、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会へ「東京2020参画プログラム」としての認証申請を行います。その場合、活動申請及び報告の際にいただいた情報を組織委員会へ提供します。
- (2) 組織委員会への実績報告内容は、画像とともに東京2020参画プログラム特設サイトなどで公開される場合があります
- (3) 「東京2020参画プログラム」として活動認証を受けるには「東京2020大会スポンサー」である企業・団体以外から援助を受けていないことが条件となります。

(<https://tokyo2020.jp/jp/organising-committee/marketing/sponsors/>)

※企業・団体からの援助（金銭及び物品の提供等）とは、認証を希望する活動に限定した援助を指し、他の活動や日常のスポーツ少年団活動全般に対する援助は含まれません。  
組織委員会の定める「東京 2020 参画プログラム」の趣旨・概要についてもご確認ください。  
(<https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/certification/about/>)

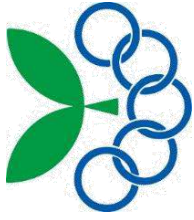
#### 9. その他

- (1) 活動に関わる費用は各スポーツ少年団にて負担してください。
- (2) 活動時は会場に応急手当用の医療品やAEDの配備、緊急時に対応される医療機関を確認する等の安全対策を行ってください。
- (3) 活動報告にあたって当協会が収集した情報、写真等は、当協会のホームページや各種報告書、SNS 等において利用することがあります。なお、当協会が収集した個人情報は、参加者の同意なしに、第三者への開示・提供は行いません（法令などにより開示を求められた場合を除く）。
- (4) 各スポーツ少年団においては、本活動を契機として、継続した社会貢献活動を実施することが望ましいです。
- (5) 都道府県、市区町村スポーツ少年団は可能な限り、地元メディア等への広報活動を実施することが望ましいです。

#### <問合せ先>

公益財団法人日本スポーツ協会 地域スポーツ推進部少年団課  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号  
TEL:03-6910-5814〔受付時間 9:30～17:30（12:00～13:00、土日祝日を除く）〕  
メール: [jjsa@japan-sports.or.jp](mailto:jjsa@japan-sports.or.jp)





# 令和3年度スポーツ少年団全国一斉活動



## 参加証

報告 No.10304

日本スポーツ少年団 殿

登録番号: 2420200079

あなたがたの活動は 600 分の時間に相当する活動として認められました。

本活動は全国のスポーツ少年団の活動を時間(分)×人数(人)で集計し、

第1回オリンピック競技大会(アテネ)から第32回オリンピック競技大会(東京)までの期間とすることを目標としています。

活動日: 5/26/2021 から 5/26/2021

活動場所: JSPO 小学校体育館及びその周辺

活動時間: 30 分

参加人数: 20 人

公益財団法人日本スポーツ協会

日本スポーツ少年団

本部長

泉 正 文



## 第48回日独スポーツ少年団同時交流(派遣:オンライン交流)実施要項

本交流は、日独両国のスポーツ少年団の青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的に、2015年に調印した「日独スポーツ少年団国際交流協定書」にもとづき、次のとおり実施するものである。

### <留意事項>

- ・新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、インターネットを介したオンライン交流にて実施いたします。
- ・下線部分は従前の実施要項から加筆した内容や主な変更点を指します。

### 1. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団  
都道府県体育・スポーツ協会 都道府県スポーツ少年団

### 2. 後援

スポーツ庁(予定)

### 3. 期日・期間

2021年7月25日(日)～8月1日(日) 8日間 (7月28日(水)は休息日)  
(日本時間 15:00～19:00 4時間)

### 4. 人数

〔団員〕76名

※本交流は日独団員同士の交流となることから、指導者の募集は行いません。

※従前の実施要項等に定めていたグループごとの定員は設けません。

### 5. 参加条件

以下の条件を全て満たし、都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。

- ① 令和2(2020)年度登録者で、令和3(2021)年度も引き続き登録が見込まれる者。
- ② 1997年4月2日～2006年4月1日生まれの者(交流年度に16歳～24歳の誕生日を迎える者)  
※ ただし、令和2(2020)年度の標記交流申込者として、都道府県スポーツ少年団から当協会に推薦されていた者を除く
- ③ 以下のいずれかに該当する者。
  - 1) 日本スポーツ少年団シニア・リーダー資格を有する者
  - 2) 所定の活動単位取得者(計20単位以上)
  - 3) 都道府県スポーツ少年団本部長が特別に推薦する者(将来、所属道府県において日独同時交流受入をはじめとする国際交流への貢献意欲があり、積極的に少年団活動に関わる意志がある者)
  - 4) 過去に本交流に参加実績がある者
- ④ 将来、スポーツ少年団指導者として活躍が期待できる者。
- ⑤ 交流プログラム参加に支障のない健康状態を有する者。
- ⑥ 英語または独語等を使い、積極的に参加者同士でコミュニケーションを図る意欲のある者。
- ⑦ インターネットによる通信環境および通信端末(パソコン・タブレット・スマートフォン等)を有し、オンライン形式での活動に参加できる者。※パソコン・タブレットのような画面が大きい通信端末がのぞましい

※今回の交流(第48回)に参加した場合でも、来年度(第49回)以降の本交流への参加は可能です(ただし他の参加条件を満たす必要があります)。



## 6. 推薦方法

別に定める募集要項により、各都道府県スポーツ少年団が推薦する。

※令和2(2020)年度推薦者(新型コロナウイルスの影響により開催中止)を優先するよう配慮すること。

## 7. 推薦後の流れ(日本団の決定から事前研修会までの流れ)

① 参加申し込み(申込者→都道府県スポーツ少年団→日本スポーツ少年団)

② 参加決定通知(日本スポーツ少年団→申込者)

③ 事前研修会に参加

[期日]2021年6月26日(土)(時間等詳細は調整中)

[方法]オンライン

※事前研修会にて、開催日までに行うプログラム実施に係る事前課題を発表する。

## 8. 経費について

参加料:なし ※本交流にかかる通信料などは各自負担となる。

## 9. プログラム

共通テーマ(下記10.参照)に基づくディスカッション、日独文化交流、スポーツ体験、アイスブレイク等

※現時点(2021年4月7日)での予定であり、今後変更となる場合がある。

## 10. 共通テーマ

「スポーツにおけるインクルージョン ～スポーツに参加するための条件・格差を考えよう～」

※ 交流における研修成果をより高めるため、両組織間で設定した共通テーマに基づき、両国団員の身近な問題をディスカッションなど様々な形態と方法により研究する。

本交流は「Sport for Tomorrow コンソーシアム」から「Sport for Tomorrow 認定事業」として承認を受けています。Sport for Tomorrow とは、2014 年から東京オリンピック・パラリンピック競技大会を開催する 2020 年までの 7 年間で開発途上国をはじめとする 100 カ国以上・1000 万人を対象に、日本国政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業です。世界のよりよい未来を目指し、スポーツの価値を伝え、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントをあらゆる世代の人々に広げていく取り組みです。

～スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン～

**暴力 0 (ゼロ) 心でつなぐスポーツの絆**



第3回 JSPO ス少発第15号  
令和3年4月16日

都道府県スポーツ少年団 本部長 様

公益財団法人日本スポーツ協会  
日本スポーツ少年団  
本部長 泉 正文



都道府県・市区町村スポーツ少年団旗付属品の販売価格改定について（通知）

平素より当協会スポーツ少年団活動に対し、格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、標記の件について、下記のとおり販売価格を改定することといたしましたので通知いたします。  
原材料費や加工費の上昇等により製作コストが増大したことによる改定として、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、市区町村スポーツ少年団に対しましても、本件についてご周知いただくよう併せてお願い申し上げます。

記

1. 価格の改定内容

【再購入分（付属品や2セット目以降の購入）】

	都道府県団旗		市区町村団旗	
	変更後	変更前	変更後	変更前
旗頭	10,450 円	7,700 円	10,450 円	7,700 円
旗立台	13,200 円	11,000 円	8,250 円	7,150 円
トランク	49,500 円	38,500 円	9,900 円	8,250 円
セット一式	137,500 円	121,000 円	62,700 円	57,200 円

※税込み価格

2. 価格の改定日

令和3年10月1日（金）

3. 同封書類

- ① 各都道府県・市区町村スポーツ少年団旗 再購入・特注品 ご注文書
- ② 各市区町村・単位団スポーツ少年団旗 再購入 ご注文書

4. 備考

購入費補助のある日本スポーツ少年団を通じての1本目の新規購入分（市区町村・単位スポーツ少年団）の価格につきましては、今回改定はございませんのでご承知おきください。

＜本件に関する問合せ先＞  
地域スポーツ推進部少年団課  
担当：石田、久保田  
Tel：03-6910-5814  
E-mail：jjisa@japan-sports.or.jp

## 単位団旗(新規) 申込書

◎必ず都道府県あるいは市区町村スポーツ少年団がお申込み下さい。 記入日: 年 月 日

申込数	@1,100円(税込) ×		本＝	円
<b>申込者</b>  ※申込者に該当するのは、 都道府県または市区町村 スポーツ少年団のみです。	団 名	静岡県 都/道/府/県 <input checked="" type="radio"/> スポーツ少年団 市/区/町/村		
	事務担当者名	山下 宇光		
	住 所	〒422-8004 静岡市駿河区国吉田5-1-1		
	T E L	054-265-6464		
<b>単位団旗送付先</b>  <input type="checkbox"/> 申込者と同じ <input type="checkbox"/> 右記送付先	団 名	スポーツ少年団		
	受取人氏名			
	住 所	〒		
	T E L			
<b>請求書送付先</b>  <input type="checkbox"/> 申込者に郵送 <input type="checkbox"/> 単位団旗に同封 <input checked="" type="radio"/> 右記送付先	団 名	静岡県 スポーツ少年団		
	受取人氏名 (代金支払者)	山下 宇光		
	住 所	〒422-8004 静岡市駿河区国吉田5-1-1		
	T E L	054-265-6464		
<b>支払い方法</b>	<input type="checkbox"/> 現金書留 <input checked="" type="radio"/> コンビニエンスストア振込(合計金額30,000円以内) <input type="checkbox"/> 銀行振込 ※銀行振込の際、名義は請求書記載の団名とし、個人名義での振込みはご遠慮願います。また、代金の振込みをされた場合は振込通知書をFAXにて日本スポーツ少年団にご提出ください。			
<b>納品希望日</b>	<input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 月 日 までに			
<b>必要書類</b>	※請求書以外に必要な書類がありましたら○をして下さい。 <input type="radio"/> 納品書 <input type="radio"/> 見積書			

※単位団の1本目の購入に対しては、  
 購入費の補助があるため  
 日本スポーツ少年団を通じての販売  
 (特別価格1,000円(税抜))となり、  
 2本目以降については、  
 指定業者((株)紅屋商店)から  
 正規価格にて購入となります。

## 申込先・振込通知書提出先

公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団  
 〒160-0013  
 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE  
 TEL:03-6910-5814 FAX:03-6910-5820

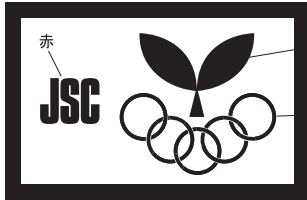
# 各市区町村・単位団スポーツ少年団旗 再購入 ご注文書

〈市区町村スポーツ少年団旗〉



行進・掲揚用 850 m/m × 1250 m/m  
¥13,200-

〈単位団旗〉



サイズ: 500 m/m × 750 m/m  
生地: アクリル生地、3色本染め仕上げ  
(赤・紺・緑) ¥2,200-



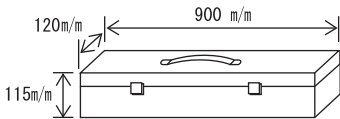
〈旗 竿〉  
本製黒塗り千段ネジ型  
3本組 2100 m/m  
¥25,300-



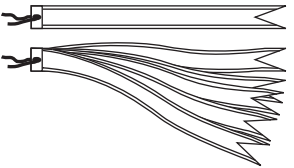
〈旗立台〉 (三脚)  
スチール製クロームメッキ  
仕上げ 9 m/m × 850 m/m  
ケース入り  
¥7,150-



〈竿 頭〉  
真鍮製少年団マーク  
¥7,700-



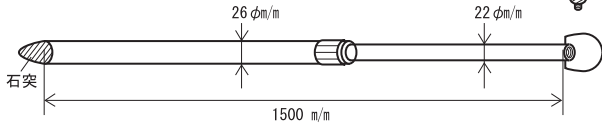
〈トランク〉  
ビニールレザー張り  
¥8,250-



〈リボン〉  
5色リボン・紅白リボン 各1本  
¥660-

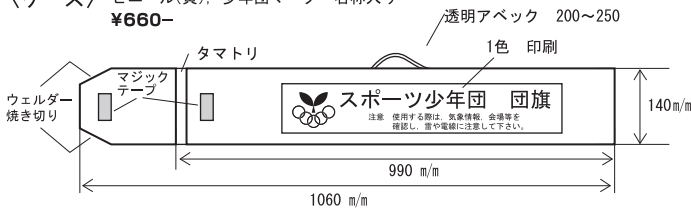
〈ポール〉

: 1500 m/m 伸縮2段アルミ製 ¥2,200-



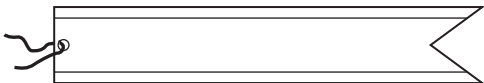
プラ玉 70 φ m/m ネジ式  
¥660-

〈ケース〉 ビニール(黄), 少年団マーク・名称入り  
¥660-



〈リボン〉

紅白 60 m/m × 420 m/m ¥154-



(株)紅屋商店

〒113-0033  
文京区本郷1～7～3

担当/松本・森下

☎ 03-3815-0614 FAX 03-3815-8805

E-mail: morishita@beniya-shouten.co.jp

〈市区町村スポーツ少年団旗〉

品 名	金 額(税込)	注文数
市区町村旗	13,200.-	
竿 頭	7,700.-	
旗 竿	25,300.-	
旗立台	7,150.-	
トランク	8,250.-	
リボン	660.-	
※セットの場合(一式)	57,200.-	

〈単位団旗〉

品 名	金 額(税込)	注文数
単位団旗	2,200.-	
ポール	2,200.-	
プラ玉	660.-	
ケース	660.-	
リボン	154.-	
※セットの場合(一式)	5,500.-	

市区町村・団体名	担当者名	発注日	希望納期
住所			
電話	( )		

※ 表示価格は消費税込みの価格となっております。送料は実費請求になります。

# 各市区町村・単位団スポーツ少年団旗 再購入 ご注文書

〈市区町村スポーツ少年団旗〉



行進・掲揚用 850 m/m × 1250 m/m  
¥13,200-

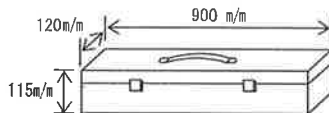
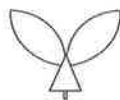


〈旗 竿〉  
本製黒塗干段ネジ型  
3本組 2100 m/m  
¥25,300-

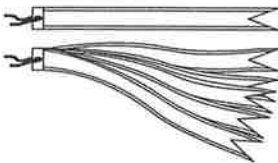


〈旗立台〉(三脚)  
スチール製クロームメッキ  
仕上げ 9 m/m × 850 m/m  
ケース入り  
¥8,250-

〈竿 頭〉  
真鍮製少年団マーク  
¥10,450-



〈トランク〉  
ビニールレザー張り  
¥9,900-



〈リボン〉  
5色リボン・紅白リボン 各1本  
¥660-

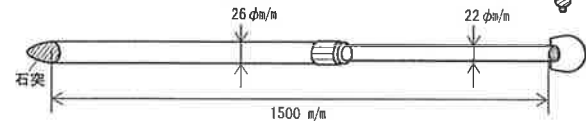
〈単位団旗〉



サイズ: 500 m/m × 750 m/m  
生地: アクリル生地, 3色本染め仕上げ  
(赤・紺・緑) ¥2,200-

〈ポール〉

: 1500 m/m 伸縮2段アルミ製 ¥2,200-



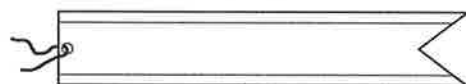
プラ玉 70 φ m/m ネジ式  
¥660-

〈ケース〉 ビニール(黄), 少年団マーク・名称入り  
¥660-



〈リボン〉

紅白 60 m/m × 420 m/m ¥154-



(株)紅屋商店

〒113-0033  
文京区本郷1~7~3

担当/松本・森下

☎03-3815-0614 FAX 03-3815-8805

E-mail: morishita@beniya-shouten.co.jp

〈市区町村スポーツ少年団旗〉(R3.10.1~)

〈単位団旗〉

品 名	金 額(税込)	注文数
市区町村旗	13,200.-	
竿 頭	10,450.-	
旗 竿	25,300.-	
旗立台	8,250.-	
トランク	9,900.-	
リボン	660.-	
※セットの場合(一式)	62,700.-	

品 名	金 額(税込)	注文数
単位団旗	2,200.-	
ポール	2,200.-	
プラ玉	660.-	
ケース	660.-	
リボン	154.-	
※セットの場合(一式)	5,500.-	

市区町村・団体名	担当者名	発注日	希望納期
住所			
電話	( )		

※ 表示価格は消費税込みの価格となっております。送料は実費請求になります。

令和 年 月 日

公益財団法人 静岡県スポーツ協会  
静岡県スポーツ少年団 様

市 ・ 町スポーツ少年団

### スポーツ少年団役員等の変更について

年 月 日付にて、下記のとおり役員等の変更がありましたので通知いたします。

#### 記

変更役職	
1 本部長	2 代議員
3 事務局担当者	
<p>新役職者</p> <p>ふりがな</p> <p>氏名</p>	<p>旧役職員</p> <p>ふりがな</p> <p>氏名</p>
<p>新役職員連絡先</p> <p>&lt; 自 宅 &gt;</p> <p style="text-align: center;">〒</p> <p>住 所 _____</p> <p>電 話 _____</p> <p>携 帯 _____</p> <p>&lt; 勤 務 先 &gt;</p> <p>名 称 _____ 役 職 _____</p> <p style="text-align: center;">〒</p> <p>住 所 _____</p> <p>電 話 _____</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">※ご提出いただいた個人情報は、静岡県スポーツ少年団関係の通知又はそれに付随する連絡等に使用します。また、個人情報は厳密に管理します。</p>	

＜市町用＞

## 令和2・3年度静岡県スポーツ少年団指導者協議会評議員変更届

旧評議員	
ふりがな 新評議員氏名	男 ・ 女
生 年 月 日	年 月 日 ( 歳)
現 住 所	〒  電話番号 ( ) — FAX 番 号 ( ) — 携帯番号 ( ) —
所属市町・所属団名	市 スポーツ少年団
役 職	県・市町スポーツ少年団本部の役職  その他の役職
資格番号	認定育成員番号 21 N 認定員番号 21 K
備 考	

※ この名簿によって得られた個人情報は、スポーツ少年団に係る事業にのみ使用します。

上記のとおり、静岡県スポーツ少年団評議員を推薦いたします。

令和      年      月      日

静岡県スポーツ少年団指導者協議会

会 長    伊 藤    秀 志    様

(所属市町) スポーツ少年団

(推薦者) (印)

# 市町スポーツ少年団事務局一覧

No.	市町	〒	住所	電話番号
1	沼津市	410-0055	沼津市高島本町1-4 沼津市民体育館内	055-922-7200
2	熱海市	413-8550	熱海市中央町1-1 熱海市健康福祉部健康づくり課スポーツ推進室内	0557-86-6604
3	三島市	411-0033	三島市文教町2-10-57(三島市民体育館内)	055-987-7571
4	富士宮市	418-8601	富士宮市弓沢町150番地	0544-22-1190
5	伊東市	414-8555	伊東市大原2-1-1	0557-32-1964
6	富士市	417-8601	富士市永田町1-100 富士市役所スポーツ振興課内	0545-53-6045
7	御殿場市	412-0041	御殿場市茱萸沢658-4 御殿場市陸上競技場内	0550-80-5566
8	下田市	415-0036	静岡県下田市西本郷2-4-8	0558-23-1510
9	裾野市	410-1113	裾野市稲荷24 (NPO法人裾野市スポーツ協会内)	055-993-8484
10	東伊豆町	413-0411	賀茂郡東伊豆町稲取3354 教育委員会内	0557-95-6206
11	河津町	413-0512	賀茂郡河津町笹原78-4 河津町教育委員会内	0558-34-1117
12	南伊豆町	415-0303	賀茂郡南伊豆町下賀茂149-3	0558-62-4800
13	松崎町	410-3696	賀茂郡松崎町宮内301-1	0558-42-3971
14	西伊豆町	410-3502	静岡県賀茂郡西伊豆町安良里97-2 西伊豆町教育委員会	0558-56-0212
15	函南町	419-0122	田方郡函南町上沢81 函南町文化センター内	055-979-1733
16	伊豆の国市	410-2292	伊豆の国市長岡346-1(あやめ会館内) 伊豆の国市観光文化部スポーツ振興課内	055-948-1460
17	伊豆市	410-3213	伊豆市青羽根89 狩野ドーム内	0558-87-1611
18	清水町	411-0903	駿東郡清水町堂庭287-1	055-981-5305
19	長泉町	411-0942	駿東郡長泉町中土狩551-3	055-987-5859
20	小山町	410-1321	駿東郡小山町阿多野125 小山町総合体育館内	0550-76-7511
21	静岡市	422-8006	静岡市駿河区曲金三丁目1番10号 ツインメッセ静岡 西館2階 公益財団法人静岡市体育協会内	054-654-5151
22	島田市	427-0042	島田市中央町5-1 島田市民総合施設ブラザおおるり2階	0547-36-7219
23	焼津市	425-0087	焼津市保福島1050 焼津市総合体育館内	054-626-7930
24	藤枝市	426-0034	藤枝市駅前3-21-1 市民体育館内	054-641-1112



# 市町スポーツ少年団事務局一覧

No.	市町	〒	住所	電話番号
25	牧之原市	421-0413	牧之原市波津572	0548-52-4600
26	吉田町	421-0301	榛原郡吉田町住吉89-1	0548-33-2152
27	川根本町	428-0414	榛原郡川根本町東藤川1220 本川根B&G海洋センター内	0547-59-3332
28	浜松市	435-0016	浜松市東区和田町808-1 (公財)浜松市スポーツ協会内	053-411-8686
29	磐田市	438-0086	磐田市見付4075 磐田市総合体育館内	0538-33-3443
30	掛川市	436-0043	掛川市大池2192	0537-24-9781
31	袋井市	437-0062	袋井市久能1912-1 袋井市総合体育館 さわやかアリーナ内	0538-42-1920
32	湖西市	431-0441	湖西市吉美830-1 湖西市スポーツ協会	053-576-1124
33	御前崎市	437-1692	御前崎市池新田5585	0537-29-8735
34	菊川市	437-1507	菊川市赤土1070-1 菊川市民総合体育館内	0537-73-0115
35	森町	437-0215	周智郡森町森92-8 森町総合体育館内	0538-85-4191

以下の資料は、日本スポーツ協会スポーツ少年団よりダウンロード下さい！！

➤ 運動適性テストⅡ

「資料・解説動画」



<https://www.japan-sports.or.jp/club/test/tabid623.html>

➤ 暴力根絶について

日本スポーツ協会 → スポーツ少年団 → 理念・規定集

 [スポーツ少年団登録者処分基準関連様式（一式）](#)



<https://www.japan-sports.or.jp/club/tabid302.html>

➤ その他

事務担当者会議の資料については、静岡県スポーツ協会 HP

☒様式ダウンロード    « pass : SSA2020 » → **スポーツ少年団**

※スタートコーチ(スポーツ少年団)申込みに係る、“指導者マイページ登録”

及び“講習会申込みの手順”も掲載を予定しています。ご案内ください。

近日中の UP を予定しております。整い次第、メールにてご案内いたします。

ご確認下さい。